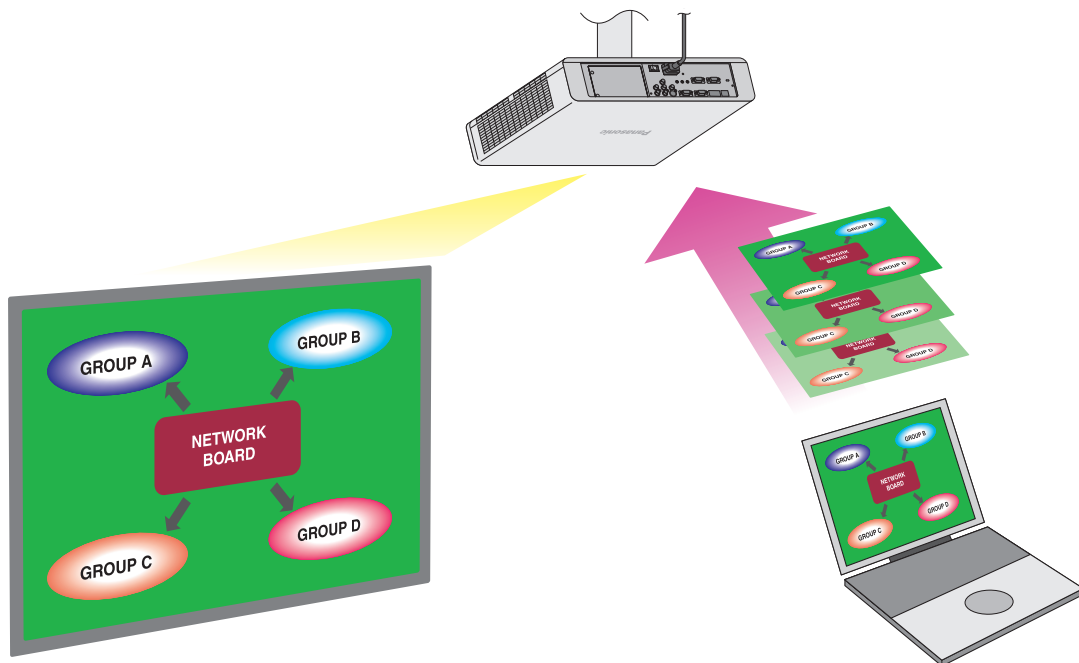


取扱説明書

ワイヤレスマネージャー ME6.3

Wireless Manager mobile edition 6.3

Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

ソフトウェア使用許諾書	4
セキュリティに関するお願い	5
ソフトウェアの使いかた	6

準備する

ご使用のコンピューターをご確認ください	8
接続に必要なコンピューター環境	8
必要なシステム構成	9
ソフトウェアをインストール / アンインストールする	10
ソフトウェアをインストールする	10
ソフトウェアをアンインストールする	11
ソフトウェアをインストールしないで使う	12
プロジェクターとの接続方法	14
管理者権限がないアカウントの場合	14
プロジェクターを確認する	15

ソフトウェアを起動する

ソフトウェアを起動する	17
<かんたん接続>画面	18
<ネットワーク ID 確認>画面	18
<登録リスト> 画面	19
<プロジェクター検索> 画面	20

プロジェクターを選択する

登録済みのプロジェクターを選択する	22
[シンプル], [S-DIRECT], [S-MAP], [1], [2], [3], [4] の設定で使用する	23
[USER1], [USER2], [USER3] の設定で使用する	25
[M-DIRECT] の設定で使用する	28
有線 LAN で接続して使用する	30
USB ディスプレイ機能を使用する	33
IP アドレス検索で使用する	35
プロジェクターにパスワードが設定されている場合	37
プロジェクターがコンテンツマネージャーを搭載している場合	37

投写する

ランチャーを操作する	38
ランチャー	38
音量を調節する	39
ソフトウェアを終了する	39

プロジェクターの登録と編集

プロジェクターまたはグループを登録する	40
< プロジェクター登録 > 画面	40
登録した名前を変更する	43
登録したプロジェクターまたはグループを削除する	44
別のプロジェクターまたはグループに変更する	45
登録リストをエクスポートする	46
登録リストをインポートする	47

オプション機能

オプションの設定	48
マルチライブモード	50
4 画面マルチスタイル	52
4 画面インデックススタイル	53
16 画面インデックススタイル	54
送信者名の設定	55
リモコン	55
WEB 制御	56
コンテンツマネージャー	57
バージョン情報	57
メッセージ	58

その他

用語解説	60
困ったとき	62

ソフトウェア使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことが、ご使用の条件になっております。

● 第1条 権利

お客様は、本ソフトウェア（CD-ROM、取扱説明書などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。

● 第2条 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

● 第3条 コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

● 第4条 使用コンピューター

本ソフトウェアは、お客様が所有または管理する複数台のコンピューターにおいて使用することができます。

● 第5条 解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。

お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。

また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店、販売代理店等は責任を負いません。

● 第6条 アフターサービス

ご使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社お客様ご相談センターまで電話でお問い合わせください。

お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

● 第7条 免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。

本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店、販売代理店等はその責任を負いません。

なお、弊社プロジェクターの使用を伴わない本ソフトウェアの動作保証は一切行いません。

● 第8条 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係する各国の輸出管理に関連する法規を順守してください。

Wireless Manager mobile edition 6.3（以下はWireless Manager ME6.3と表します）は下記のソフトウェアを使用します。

A portion of this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

以下のことをあらかじめご了承ください。

- プロジェクターの使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プロジェクターによるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- この説明書は、Windows7で操作したときの画面表示を基本に記載しています。
- 本ソフトウェアの仕様は、予告なく変更されることがあります。

セキュリティに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、以下のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本ソフトウェアを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの不正操作
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの妨害や停止

プロジェクター本体とお使いのコンピューターに対して、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。
直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- ご使用のコンピューターのパスワードを設定し、ログオンできるユーザーを制限してください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN機器をご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線LAN機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

無線LANで使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、「パナソニック お客様相談センター」までお問い合わせください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本ソフトウェアを使用することをお勧めします。

ソフトウェアの使いかた

本ソフトウェアを利用すると、コンピューターの画面をプロジェクターから手軽に投写することができます。
投写するまでの基本的なステップは、次のようになります。

■ 準備する

1 プロジェクターの電源を入れる

2 リモコンの<Panasonic APP> ボタン / <ネットワーク / NETWORK> ボタン (またはプロジェクターの<INPUT SELECT> ボタン) を押す

3 プロジェクターのネットワーク IDを確認する

👉 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

4 本ソフトウェアをコンピューターにインストールする

👉 「ソフトウェアをインストールする」(10 ページ)

■ ソフトウェアを起動する

5 本ソフトウェアを起動する

👉 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)

複数台のプロジェクターを使用する場合、または IP アドレスで直接指定して接続する場合は、(17 ページ) を参照し、[さらに検索する...] をクリックし、<プロジェクター検索>画面 (20 ページ) から操作ください。

■ プロジェクターを選択する

6 3で確認したネットワーク ID に一致するプロジェクターをクリックする

👉 「<かんたん接続>画面」(18 ページ)

■ 投写する

7 ランチャーの▶ をクリックする

コンピューターの画面がプロジェクターから投写されます。

👉 「ランチャー」(38 ページ)



ネットワーク ID の表示箇所
(プロジェクターの映像)



📎 お知らせ 📎

- 使用するプロジェクターにより、本ソフトウェアの制約事項が異なります。
最新の情報は、使用している機種が NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合は、弊社 WEB サイト (<http://www2.panasonic.biz/lis/lighting/>) または CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応機能一覧表」をご覧ください。これ以外の機種の場合は、弊社 WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) の「対応プロジェクター機種一覧表」、またはプロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。

お願い

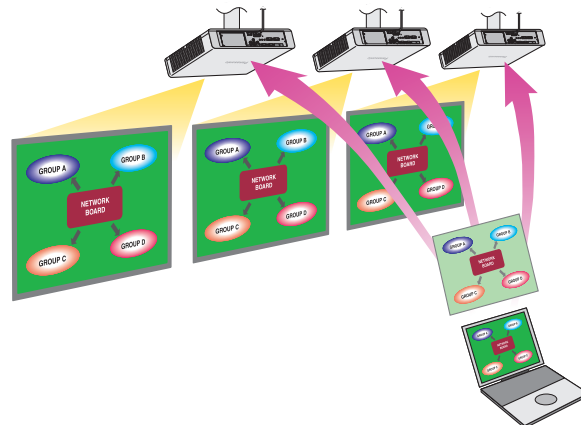
- プロジェクターの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4G Hz または 5 GHz 帯域の電波を使用します。
無線 LAN 接続をするうえでのお願い事項や、使用できる無線 LAN のチャンネルなどの情報は、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアの使いかた (つづき)

■ <複数台のプロジェクターからの投写>

📖 22、23 ページ

複数台のプロジェクター（最大8台）から1台のコンピュータの画面を投写することができます。



■ <マルチライブモード>

📖 50 ページ

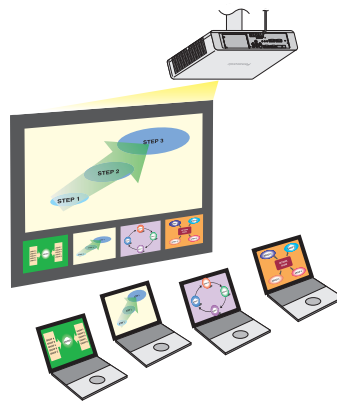
● 4画面マルチスタイル

複数台のコンピュータのプレゼンテーションに使用します。



● 4画面インデックススタイル

4つのプレゼンテーションを表示しながら、その中の1つに注目を集めたい場合に、このスタイルが便利です。



● 16画面インデックススタイル

多くのプレゼンテーションを一覧表示したい場合に、このスタイルが便利です。



■ <リモコン>

📖 55 ページ

ブラウザーリモコンとは、WEB ブラウザー上に表示した各種ボタンを用いて、プロジェクターの操作を実現するものです。
ブラウザーリモコン対応機種：コンピュータのWEB ブラウザーを使って、プロジェクターのリモコンと同様の操作をすることができます。

ブラウザーリモコン非対応機種：簡易的なリモコン画面を使って、プロジェクターを操作することができます。

■ <WEB 制御>

📖 56 ページ

コンピュータのWEB ブラウザーを使って、プロジェクターを制御することができます。

■ <コンテンツマネージャー>

📖 57 ページ

コンテンツマネージャーを搭載したプロジェクターに対して、本ソフトウェアから直接コンテンツマネージャーを呼び出すことができます。

ご使用のコンピューターをご確認ください

■ 接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに有線LAN、または無線LAN機能が装備されているかどうかご確認ください。
- プロジェクターとコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。
- すべての無線LANアダプターやコンピューターに内蔵されている無線LANアダプターでの動作を保証するものではありません。

■ 無線LANの場合

チェック1 無線LANの設定

- 無線LANアダプターが正しく認識されていますか。
- 無線LANアダプターが有効になっていますか。
- 事前に無線LANアダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック2 ログオンするユーザーの設定

- 管理者権限でログオンできますか。

チェック3 コンピューターの設定

- セキュリティー（ファイアウォール）ソフトや無線LANアダプターのユーティリティソフトがインストールされていると、プロジェクターと接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジを設定していませんか。
[🔗「困ったとき」\(63 ページ\)](#)
- ファイアウォールのブロックを解除または停止していますか。
[🔗「困ったとき」\(64 ページ\)](#)

■ 有線LANの場合

チェック1 有線LANケーブルについて

- ケーブルが正しく接続されていますか。
- システム構成によりケーブル仕様は異なります。プロジェクターの設定とケーブルの仕様をご確認ください。

チェック2 有線LANの設定

- 有線LANアダプターが正しく認識されていますか。
- 有線LANアダプターが有効になっていますか。
- 事前に有線LANアダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック3 コンピューターの設定

- セキュリティー（ファイアウォール）ソフトがインストールされていると、プロジェクターと接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジを設定していませんか。
[🔗「困ったとき」\(63 ページ\)](#)
- ファイアウォールのブロックを解除または停止していますか。
[🔗「困ったとき」\(64 ページ\)](#)

ご使用のコンピューターをご確認ください(つづき)

■ 必要なシステム構成

本ソフトウェアを使用するには、下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

OS :	Microsoft Windows Vista Ultimate 32/64 bit, Business 32/64 bit, Home Premium 32/64 bit, Home Basic 32/64 bit SP2 まで対応 Microsoft Windows 7 Ultimate 32/64 bit, Professional 32/64 bit, Home Premium 32/64 bit SP1 まで対応 Microsoft Windows 8 Windows 8 32/64 bit, Windows 8 Pro 32/64 bit Microsoft Windows 8.1 Windows 8.1 32/64bit, Windows 8.1 Pro 32/64bit Microsoft Windows 10 Windows 10 Home 32/64bit, Windows 10 Pro 32/64bit 上記OSの日本語版、英語版、中国語版に対応します。
WEB ブラウザー :	WEB 制御機能を使用する場合 : Internet Explorer 7.0/8.0/9.0/10.0/11.0 ブラウザーリモコン機能を使用する場合 : Internet Explorer 7.0/8.0/9.0/10.0/11.0 コンテンツマネージャーを呼び出して使用する場合 : Internet Explorer 10.0/11.0、 Google Chrome 33
CPU :	Intel Core 2 Duo 以上、もしくは互換のプロセッサ搭載 投写時は、Intel Core i5 以上推奨
メモリー :	1024 MB 以上
ハードディスク :	100 MB 以上の空き容量 (プロジェクター情報を保存するために、別途空き容量が必要です。)
LAN 環境 :	有線LANで接続する場合 : LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) が必要 無線LANで接続する場合 : 無線LANアダプター (IEEE802.11b/g/n/a 準拠) が必要
モニター画面 :	High Color (16bit) 以上
デスクトップ領域 :	1024 ドット × 768 ドット 以上 2048 ドット × 1536 ドット 以下

準備する

お知らせ

- 上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ワイヤレス WAN をご利用のコンピューターでは、一部の機能が使用できない場合があります。
- IEEE802.11n で接続する場合は、いずれも 11n に対応する無線 LAN アダプター、プロジェクター、およびアクセスポイントを使用してください。
- スイッチャブルグラフィックス (Switchable Graphics) 機能を持ったコンピューターで、グラフィック機能を切り換える場合は、投写を停止してから行うようにしてください。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

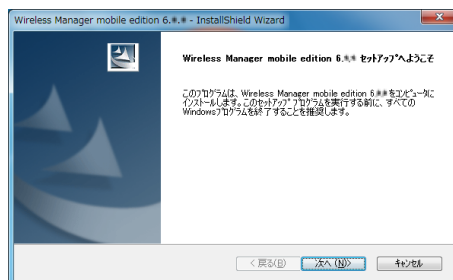
ソフトウェアをインストール/アンインストールする

■ ソフトウェアをインストールする

お知らせ

- 「ワイヤレスマネージャー ME6.*」*¹ のインストールを行う際、すでに「ワイヤレスマネージャー ME6.*」*¹ がコンピュータにインストールされている場合、アンインストール*² されます。
- 本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。

1 インストーラーを起動し、画面の指示にしたがってインストールを行ってください。



< プロジェクターの付属品の CD-ROM を用いてインストールする場合 >

- 本ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD ドライブに挿入すると、自動的にアプリケーションランチャーが起動します。起動しないときは、CD-ROM 内の「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。
- [ワイヤレスマネージャー ME6.*]*¹ をクリックします。
- [インストールする]と[インストールしないで使う]の選択画面が表示されます。
- [インストールする]をクリックします。

お知らせ

- 自動再生の画面が表示された場合は、「Launcher.exe の実行」を選択してください。
- 管理者権限のアカウントでインストールしてください。

< WEB からダウンロードしたファイルを用いてインストールする場合 >

- [ワイヤレスマネージャー ME6.*]*¹ をクリックし、案内に従って、コンピュータへのインストール用のファイルをダウンロードしてください。
- ダウンロード後のインストール方法については、WEB サイトの情報を参照ください。

2 インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。

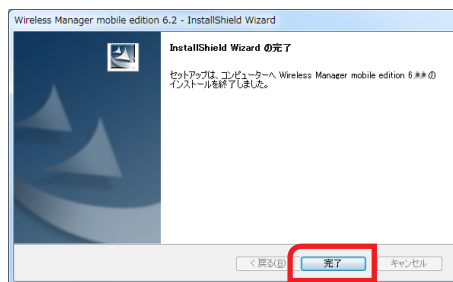


お知らせ

- 本ソフトウェアの最新バージョンは、使用している機種がNTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合は、弊社 WEB サイト (<http://www2.panasonic.biz/ls/lighting/>)、これ以外の機種の場合は、弊社 WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) のサポート情報をご確認ください。
- *¹ * アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。
- *² 本ソフトウェアに登録されているプロジェクターの登録リストも削除されます。
登録リストを残したい場合には、エクスポート/インポートを行ってください。(46 ページ、47 ページ参照)

ソフトウェアをインストール/アンインストールする (つづき)

3 インストールが完了すると完了画面が表示されますので [完了] ボタンを押してください。



■ ソフトウェアをアンインストールする

次の操作でアンインストール^{*2}を行ってください。

● Windows Vista/Windows 7 の場合

[スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [プログラムのアンインストール] から [Wireless Manager mobile edition 6.2]^{*1} を選択して [アンインストール] をクリックします。

● Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 の場合

キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押し、[コントロールパネル] ➡ [プログラムのアンインストール] から [Wireless Manager mobile edition 6.2]^{*1} を選択して [アンインストール] をクリックします。

📎 お知らせ 📎

- ^{*1} * アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。
- ^{*2} 本ソフトウェアに登録されているプロジェクターの登録リストも削除されます。
登録リストを残したい場合には、エクスポート/インポートを行ってください。(46 ページ、47 ページ参照)

ソフトウェアをインストールしないで使う

本ソフトウェアをインストールしなくても、本ソフトウェアを使用することができます。

また、USB メモリーなどのメディアに本ソフトウェアをコピーすることで、ソフトウェアをインストールすることのできないコンピュータでも本ソフトウェアを使うことができます。

お知らせ

- 本ソフトウェアをインストールしないで使う場合は、音声の出力ができません。

■ プロジェクターの付属品に本ソフトウェアのCD-ROMがある場合

1 本ソフトウェアが収録されているCD-ROMをCDドライブに挿入する

自動的にアプリケーションランチャーが起動します。

- 起動しないときは、CD-ROM内の「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。
- 自動再生の画面が表示された場合は、「Launcher.exeの実行」を選択してください。

2 「ワイヤレスマネージャー ME6.*」*1 をクリックする

[インストールする]と[インストールしないで使う]の選択画面が表示されます。

お知らせ

- *1 *アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。

3 [インストールしないで使う]をクリックする

■ すぐに使う場合

4 [CD-ROMから起動]をクリックする

本ソフトウェアが起動します。



■ メディアにコピーして使う場合

4 [他メディアにコピーして起動]をクリックする



5 保存先を選び、[OK]をクリックする

CD-ROMのプログラムが選択した保存先にコピーされます。

6 アプリケーションランチャーを終了する

アプリケーションランチャーの最初の画面まで戻って[閉じる]をクリックしてください。
アプリケーションランチャーが終了します。

7 保存先の「WMStart.exe」をダブルクリックする

本ソフトウェアが起動します。

ソフトウェアをインストールしないで使う (つづき)

■ WEB サイトからダウンロードしたファイルを使用する場合

- [ワイヤレスマネージャー ME6.*]^{*1} をクリックし、案内に従って、コンピューターにインストールしないで使うファイルをダウンロードしてください。
- ダウンロード後のファイルの使用方法については、WEB サイトの情報を参照ください。

お知らせ

- 保存先にリムーバブルメディアを選択した場合は、リムーバブルメディアをプロジェクターに接続したいコンピューターへ挿入し、認識させてください。リムーバブルメディアによっては自動起動します。
- ^{*1} * アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。

プロジェクターとの接続方法

プロジェクターとコンピューターの接続には、9通りの方法があります。

[シンプル]の設定で使用する

手軽にプロジェクターと様々な端末（コンピューターやタブレットやスマートフォンなどのモバイル機器）を無線で通信する場合に使用します。

 [23 ページ](#)

[S-DIRECT]の設定で使用する

手軽にプロジェクターとコンピューターを無線で通信する場合に使用します。

 [23 ページ](#)

[S-MAP]の設定で使用する

使用しているプロジェクターが[S-DIRECT]に対応していない機種の場合に使用します。

 [23 ページ](#)

[1]～[4]の設定で使用する

使用しているプロジェクターが[S-DIRECT]、[S-MAP]に対応していない機種の場合に使用します。
また、複数台のプロジェクターを同時に使う場合に使用します。

 [23 ページ](#)

[M-DIRECT]の設定で使用する

任意のネットワーク、セキュリティキーを指定してプロジェクターと通信する場合に使用します。

 [28 ページ](#)

[USER1]～[USER3]の設定で使用する

既存のネットワークやアクセスポイントを利用して通信する場合に使用します。
また、複数台のプロジェクターを同時に使う場合に使用します。

 [25 ページ](#)

有線LANで接続して使用する

プロジェクターとコンピューターをLANケーブルで接続する場合に使用します。
また、複数台のプロジェクターを同時に使う場合に使用します。

 [30 ページ](#)

USBディスプレイ機能を使用する

プロジェクターとコンピューターをUSBケーブルで接続する場合に使用します。

 [33 ページ](#)

IPアドレス検索で使用する

IPアドレスによる検索機能を使って、プロジェクターと通信する場合に使用します。






 [35 ページ](#)

管理者権限がないアカウントの場合

管理者権限がないアカウントでコンピューターにログオンした場合は、無線LAN接続が[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]に設定されているプロジェクターは使用できません。

- 無線LAN接続の設定は、プロジェクターによっては、ネットワーク番号と記載されています。

利用できるプロジェクター

-  「[USER1]、[USER2]、[USER3]の設定で使用する」（25 ページ）
-  「[M-DIRECT]の設定で使用する」（28 ページ）
-  「有線LANで接続して使用する」（30 ページ）
-  「USBディスプレイ機能を使用する」（33 ページ）
-  「IPアドレス検索で使用する」（35 ページ）

お知らせ

- コンピューター側のネットワークの設定は、管理者権限のアカウントで行う必要があります。
- 本ソフトウェアのインストールには、管理者権限が必要です。
- 本ソフトウェアの起動後、USBディスプレイのドライバーをインストールするには、管理者権限が必要です。
- お使いのプロジェクターによっては、無線LANの[USER1]～[USER3]の設定が[USER]の設定になっている場合があります。

プロジェクターを確認する

■ プロジェクターの電源

プロジェクターの電源を入れてください。

■ 入力の設定

リモコンの<Panasonic APP> ボタン / <ネットワーク / NETWORK> ボタン (またはプロジェクターの<INPUT SELECT> ボタン) を押して、入力を [Panasonic APPLICATION] または [NETWORK] に切り換えてください。プロジェクターの投写映像に待ち受け画面が表示されます。

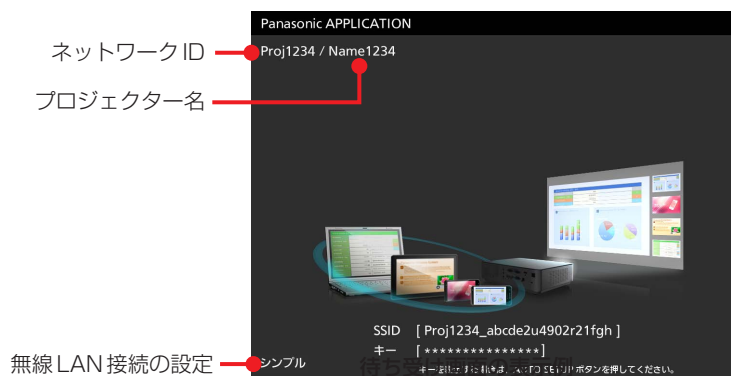
■ プロジェクターの確認

プロジェクターの無線 LAN 接続の設定、プロジェクター名、ネットワーク ID を確認してください。なお、プロジェクターの機種によって、表示箇所は異なります。

● 待ち受け画面が表示されるプロジェクター (プロジェクターの映像)

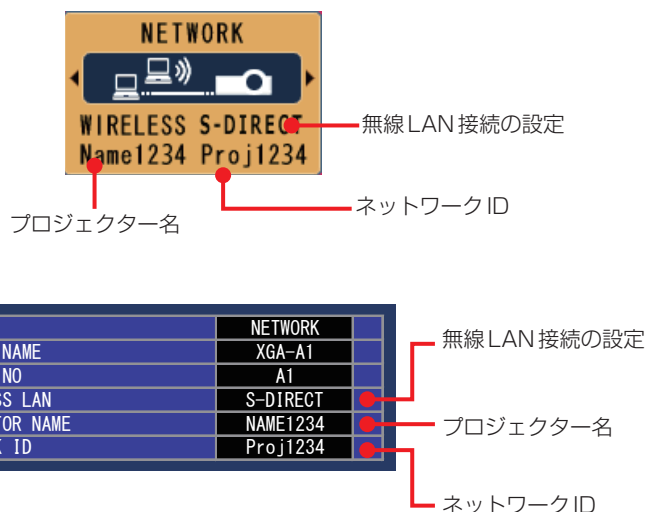
待ち受け画面が表示されるプロジェクターでも、既に他のユーザーが投写をしている場合や、マルチライブ (50 ページ) のモードが4画面インデックス/16画面インデックスの場合は、待ち受け画面が表示されません。このとき、AUTOSETUP ボタンを押すことで、ネットワーク ID を確認することができます。

・ 待ち受け画面の表示例

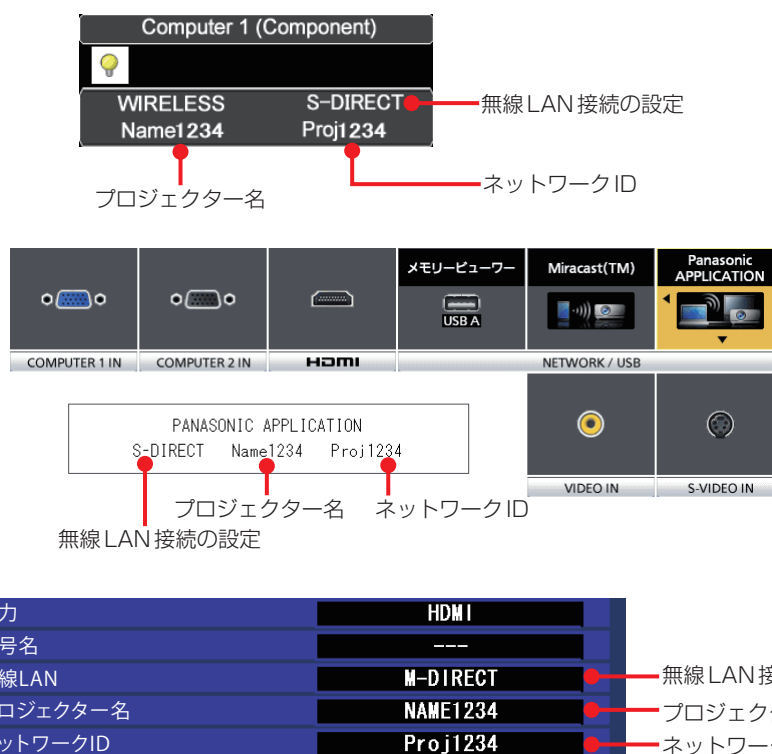


● 待ち受け画面が表示されないプロジェクター (プロジェクターの映像)

・ 入力ガイドの表示例



プロジェクターを確認する(つづき)



- 上記画面が表示されない場合は、プロジェクターの<メニュー / MENU> ボタンを押して、表示されたメニューから [表示オプション] ➡ [入力ガイド] を「オン」、または「詳細表示」にしてください。

■ ネットワークステータスの確認

プロジェクターのメニューで、ネットワークの設定情報を確認することができます。

- プロジェクターの<メニュー> ボタンを押して、表示されたメニューから [ネットワーク] ➡ [ネットワークステータス] で詳細なネットワークの設定情報を確認することができます。
- 手軽にコンピューターと無線 LAN で接続する場合は、[シンプル]、または [S-DIRECT] の設定で使用するのが便利です。

👉 「[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4] の設定で使用する」 (23 ページ)

📌 お知らせ 📌

- 使用するプロジェクターにより、無線 LAN のネットワークの設定方法が異なります。
👉 プロジェクターの取扱説明書【無線 LAN の設定】をご覧ください。

ソフトウェアを起動する

インストールした本ソフトウェアを起動するときは、

デスクトップの  をダブルクリックする

本ソフトウェアを起動すると＜かんたん接続＞画面とランチャーが表示されます。

● Windows Vista/Windows 7の場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1} を選択することでも本ソフトウェアを起動することができます。

● Windows 8/Windows 8.1の場合

キーボードの[Windowsロゴ]を押しながら[Q]を押し、[Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1} を選択することでも本ソフトウェアを起動することができます。

● Windows 10の場合

[スタート] [すべてのアプリ] → [Panasonic] → [Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1} を選択することでも本ソフトウェアを起動することができます。

プロジェクターの使用方法やプロジェクターの無線LAN接続の設定に合わせ、検索画面を切り換えて操作してください。

■ ＜かんたん接続＞画面を使用する

- [シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[USER1] ～ [USER3]、[M-DIRECT]の設定で、1台のプロジェクターを使用する場合

■ 操作方法

＜かんたん接続＞画面 (18 ページ) から操作ください。



[USER1] ～ [USER3]、[M-DIRECT]の設定で使用する場合は、プロジェクターの無線LAN設定に合わせて、ご使用のコンピュータのネットワークを設定しておく必要があります (25-29 ページ)

■ ＜プロジェクター検索＞画面を使用する

- [シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[USER1] ～ [USER3]、[1] ～ [4]、[M-DIRECT]の設定で、1台のプロジェクターを使用する場合
- [USER1] ～ [USER3]、[1] ～ [4]の設定で、複数台のプロジェクターを使用する場合
- [USER1] ～ [USER3]、[M-DIRECT]の設定で、IP検索の場合

■ 操作方法

＜かんたん接続＞画面の[さらに検索する...]をクリックし、＜プロジェクター検索＞画面 (20 ページ) から操作ください。



📌 お知らせ 📌

- 本ソフトウェアを起動したときにファイアウォールを検出した場合は、メッセージが表示されます。
👉 「メッセージ」 (58 ページ)
- オプション設定で「起動時にかんたん接続画面を表示する」にチェックを入れておくと、ソフトウェア起動時に＜かんたん接続＞画面が表示されます。
👉 「オプションの設定」 (48 ページ)
- オプション設定で「起動時にかんたん接続画面を表示する」のチェックを外し、プロジェクターを1台も登録していない場合は、ソフトウェア起動時に＜プロジェクターを登録します＞画面が表示されます。
👉 「オプションの設定」 (48 ページ)
- *1 * アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。
- お使いのプロジェクターによっては、無線LANの[USER1] ～ [USER3]の設定が[USER]の設定になっている場合があります。

ソフトウェアを起動する(つづき)

■ <かんたん接続>画面

ソフトウェア起動後に表示される画面で、コンピューターの画面を素早く簡単にプロジェクターから投写することができます。また、プロジェクターに接続・投写するためのショートカットファイルを作成することもできます。



① ネットワークID

プロジェクターを識別する Proj + 4桁の数字からなるIDです。

🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

② 更新ボタン

ボタンをクリックすることで、プロジェクター検索結果を最新の状態に更新します。

③ ショートカットファイル作成ボタン

ボタンをクリックすると、それぞれのプロジェクターに対応したショートカットファイルを指定したフォルダに作成することができます。ショートカットの種類としては、以下の2種類が作成できます。

- 接続用のショートカットファイルを作成する



このアイコンをダブルクリックすることで、作成時に選択したプロジェクターへの接続を自動で行います。

- 投写用のショートカットアイコンを作成する

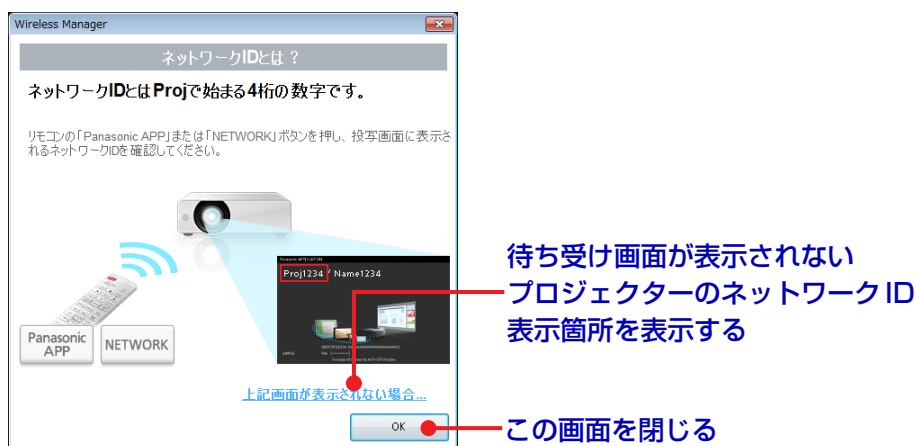


このアイコンをダブルクリックすることで、作成時に選択したプロジェクターからの投写を自動で行います。

■ <ネットワークID確認>画面

ネットワークIDの確認方法を記載した画面です。

<ネットワークID確認>画面を開くには、<かんたん接続>画面の[ネットワークIDとは?]をクリックします。



ソフトウェアを起動する(つづき)

■ <登録リスト> 画面

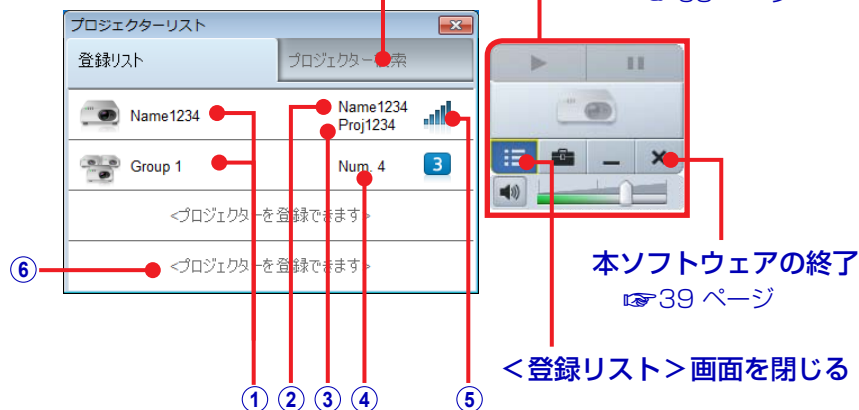
プロジェクターを登録することで、コンピューターの画面を素早くプロジェクターから投写することができます。プロジェクター、および複数のプロジェクターで構成されるグループを合計4つまで登録することができます。

🔗「プロジェクターまたはグループを登録する」(40 ページ)

<プロジェクター検索> 画面を表示する

ランチャー

🔗 38 ページ



① 登録名

本ソフトウェアに登録したプロジェクター、またはグループの名前です。

🔗「登録した名前を変更する」(43 ページ)

② プロジェクター名

プロジェクターに設定されている名前です。

ただし、無線 LAN 設定が[シンプル]の場合は、プロジェクターに設定されている名前ではなく、“SIMPLE” と表示されます。

🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

③ ネットワーク ID

プロジェクターを識別する Proj + 4桁の数字からなる ID です。

🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

④ 登録台数

グループを構成しているプロジェクターの台数です。

グループ登録の場合に、プロジェクター名とネットワーク ID の代わりに表示されます。

⑤ ネットワーク

プロジェクターを登録したときの無線 LAN 接続の設定を表します。



[シンプル]、[S-DIRECT]、または [S-MAP]

電波の強度がレベルで表示されます。

--

登録時は、[シンプル]、[S-DIRECT]、または [S-MAP] だったが見つからない

1 ~ 4

[1] ~ [4]

U

[有線 LAN]、[M-DIRECT]、[USER1] ~ [USER3]、[IP]

⑥ 未登録エリア

プロジェクターの登録に空きがあると、<プロジェクターを登録できます> と表示されます。

このエリアをクリックすると、<プロジェクター登録> 画面に切り換わります。

🔗お知らせ🔗

- プロジェクターが登録されていない場合は、<登録リスト> 画面にプロジェクター / グループが表示されません。
- 「登録台数」の部分にマウスカーソルを置くと、登録されている台数分の「プロジェクター名 / ネットワーク ID」がポップアップ表示されます。
- お使いのプロジェクターによっては、無線 LAN の [USER1] ~ [USER3] の設定が [USER] の設定になっている場合があります。

ソフトウェアを起動する(つづき)

■ <プロジェクター検索> 画面

<登録リスト> 画面を表示する

選択されているプロジェクター



⑦ 更新ボタン

ボタンをクリックすることで、プロジェクターの検索結果を最新の状態に更新します。

⑧ [使用台数] ボタン

同時に使用するプロジェクターの台数を **1台** ボタン、または **複数台** ボタンをクリックして切り換えます。
複数台 が選択されているときは、[検索切換] ボタンの **S** をクリックすることができません。

⑨ [検索切換] ボタン

各ボタンをクリックすることで、それぞれに該当する無線 LAN 接続の設定のプロジェクターを検索して表示します。
使用するプロジェクターの無線 LAN 接続の設定を確認し、対応するボタンをクリックして切り換えてください。

ボタン	検索するプロジェクター
S [シンプル] [S-DIRECT] [S-MAP]	無線 LAN 接続が [シンプル]、[S-DIRECT]、または [S-MAP] に設定されているプロジェクターを検索します。 コンピューターのネットワークを設定しなくても、すぐにプロジェクターを使いたいときに便利です。 複数台のプロジェクターで、同時に投写することはできません。 🔗 「[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]の設定で使用する」(23 ページ)
U [USER] [M-DIRECT] [有線 LAN]	無線 LAN 接続が [USER1] ~ [USER3]、[M-DIRECT] に設定されているプロジェクター、または有線 LAN で接続したプロジェクターを検索します。 🔗 「[USER1]、[USER2]、[USER3]の設定で使用する」(25 ページ) 🔗 「[M-DIRECT]の設定で使用する」(28 ページ) 🔗 「有線 LAN で接続して使用する」(30 ページ) 🔗 「USB ディスプレイ機能を使用する」(33 ページ)
1 ~ 4	無線 LAN 接続が [1] ~ [4] に設定されているプロジェクターを検索します。 🔗 「[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]の設定で使用する」(23 ページ)
IP	IP アドレスを指定してプロジェクターを検索します。 🔗 「IP アドレス検索で使用する」(35 ページ)


ソフトウェアを起動する(つづき)

⑩[使用する]ボタン

ボタンをクリックすることで、選択したプロジェクターから投写できる状態になります。

お知らせ

- 管理者権限がないアカウントでコンピューターにログオンした場合は、無線 LAN 接続が[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]に設定されているプロジェクターは使用できません。
- 無線 LAN 接続の[1]は、WEP（無線通信の暗号化）が設定されていません。
無線 LAN 接続の[2]～[4]は、WEP（無線通信の暗号化）が設定されていますので、セキュリティを重視される場合は、プロジェクターの無線 LAN 接続を[2]～[4]に設定してください。
- 無線 LAN 接続が[1]、および[USER]（[USER1]～[USER3]）のプロジェクターで[暗号化]を[無し]に設定した場合でも、画像／音声データは、あらかじめ全無線 LAN 接続の設定において AES 暗号化処理が施されていますので、重要なデータは保護されます。
- プロジェクターを選択するためには、プロジェクターに設定されているものと同じ無線 LAN 接続を[検索切替]ボタンから選択する必要があります。プロジェクターの無線 LAN 接続の設定を確認するには、プロジェクターのネットワークメニュー、もしくは待ち受け画面を確認してください。

 「プロジェクターを確認する」（15 ページ）

登録済みのプロジェクターを選択する

事前に登録しておいたプロジェクターを<登録リスト>画面から選択して、コンピューターの画面を投写します。

また、登録しておいたグループを選択すると、複数台のプロジェクターからコンピューターの画面を投写することができます。

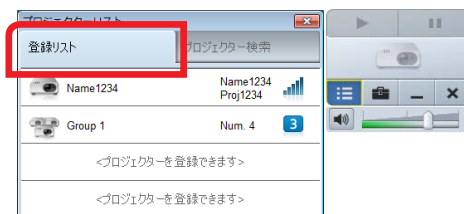
- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて、無線LAN接続の設定、プロジェクター名およびネットワークIDを確認しておきます。

🔗 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

🔗 「プロジェクターまたはグループを登録する」(40 ページ)

1 本ソフトウェア を起動して<登録リスト>画面を表示する

🔗 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)



2 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックする



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



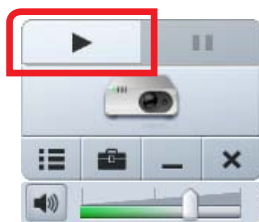
<登録リスト> 画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

🔗 お知らせ

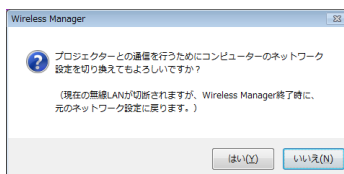
- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
🔗 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)
- 無線LAN設定が[シンプル]の場合は、登録リスト画面の表示はプロジェクター名ではなく、SIMPLEと表示されます。
- 「登録台数」の部分にマウスカーソルを置くと、登録されている台数分の「プロジェクター名/ネットワークID」がポップアップ表示されます。

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔗 「ランチャー」(38 ページ)



- ネットワークの設定変更を確認する画面が表示されたときは、[はい]をクリックしてください。



[シンプル], [S-DIRECT], [S-MAP], [1], [2], [3], [4] の設定で使用する

[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]の無線LAN接続に設定されているプロジェクターから、使用したいプロジェクターを選択します。

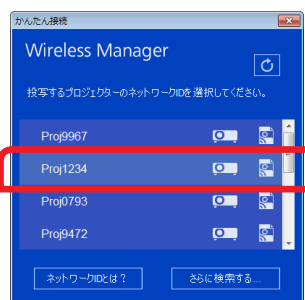
- 手軽にコンピュータと無線LANで接続する場合は、[シンプル]、[S-DIRECT]、または[S-MAP]の設定で使用するの
が便利です。＜かんたん接続＞画面からプロジェクターを選択することができます。
- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて、無線LAN接続の設定、プロジェクター名およびネットワークIDを確認
しておきます。

👉「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

1 本ソフトウェア を起動して＜かんたん接続＞画面を表示する

👉「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)

＜かんたん接続＞画面を用いて、[シンプル]、
[S-DIRECT]、[S-MAP]の設定で使用する場合



リストからプロジェクターに表示されているネットワ
ークIDに一致するプロジェクターをクリックし選択しま
す。

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャー
の操作が有効になります。

操作手順2以降は、必要ありません。

＜プロジェクター検索＞画面を用いて、[シンプル]、
[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]、[2]、[3]、[4]の設定
で使用する場合



[さらに検索する...]をクリックし、＜プロジェクター検
索＞画面を表示してください。



以降、操作手順2にお進みください。

2 使用するプロジェクターの台数に応じて[使用台数] ボタンの **1台**、または **複数台** をクリックし、 プロジェクターに表示されている無線LAN接続の設定に該当する[検索切換] ボタンをクリック する

無線LAN接続の設定が[シンプル]、[S-DIRECT]、または[S-MAP]のときは、**S** をクリックし、無線LAN接続
の設定が[1]、[2]、[3]、[4]のときは、同じ番号のボタンをクリックします。

- ＜プロジェクター検索＞画面を表示したときは、**1台** が選択されています。
- **複数台** を選択した場合は、**S** を選択することができません。



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



＜プロジェクター検索＞画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

プロジェクターを選択する

3 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワーク ID に一致するプロジェクターをクリックする

複数台のプロジェクターを同時に使用する場合は、使用するプロジェクターをすべて選んでください。



ネットワーク ID の表示箇所
(プロジェクターの映像)



<プロジェクター検索> 画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

4 [使用する] をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔗 「ランチャー」 (38 ページ)

📎お知らせ📎

- ネットワークの設定変更を確認する画面が表示されたときは、[はい] をクリックしてください。
🔗 22 ページ
- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワーク ID の表示箇所は異なる場合があります。
🔗 「プロジェクターを確認する」 (15 ページ)
- 複数台のプロジェクターを選択して使用する場合は、[使用台数] ボタンの **複数台** を選択してください。
最大で 8 台のプロジェクターを同時に使用することができます。
🔗 20 ページ

[USER1], [USER2], [USER3] の設定で使用する

無線 LAN 接続が [USER1]、[USER2]、[USER3] に設定されているプロジェクターを選択します。

- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて、プロジェクター名とネットワーク ID を確認しておきます。

🔗 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

■ プロジェクターの設定

1 プロジェクターのネットワーク設定をする

- ① プロジェクターのメニュー画面から [ネットワーク] ➡ [無線 LAN] で [USER1] (または [USER2]、[USER3]) を選択する

- ② ネットワークの設定をする

🔗 プロジェクターの取扱説明書

AD HOC 接続の場合 (「用語解説」60 ページ) (工場出荷時の状態での接続になります)

SSID	Panasonic Projector
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.11.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1
モード	AD HOC
認証	オープン
暗号化	無し
チャンネル	11

アクセスポイント経由 (DHCP) の場合 (「用語解説」60 ページ)

SSID	接続するアクセスポイント名を入力する
DHCP	オン
モード	INFRASTRUCTURE
認証	接続するアクセスポイントに合わせて入力する
暗号化	
チャンネル	

- 上記以外の内容にするときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。


■ コンピューターの設定

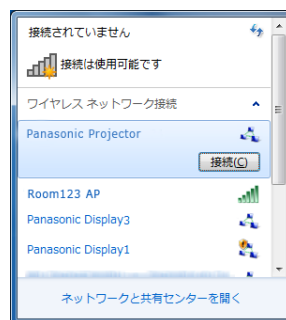
2 プロジェクターの設定に合わせて、コンピューターのネットワークを設定する

プロジェクターが工場出荷時の状態の場合は、コンピューターの DHCP 機能を「オン」にして使用してください。

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

3 プロジェクターに設定されているネットワークに接続する

タスクトレイ (Windows 画面の右下) の  をクリックして、プロジェクターに設定されている SSID と同じ名前を選択してください。



📌 お知らせ

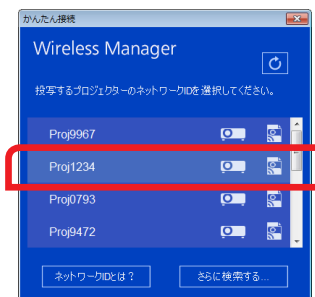
- ネットワークが見つからない場合は、お使いの無線 LAN アダプターの取扱説明書をご確認ください。
- プロジェクターの設定を正しく行っても、アクセスポイント経由で無線 LAN 接続ができない場合は、お使いのアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- お使いのプロジェクターによっては、無線 LAN の [USER1] ~ [USER3] の設定が [USER] の設定になっている場合があります。

■ プロジェクターの選択

4 本ソフトウェア を起動して <かんたん接続> 画面を表示する

 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)

<かんたん接続> 画面を用いて、1 台のプロジェクターを使用する場合



リストからプロジェクターに表示されているネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックし選択します。

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

操作手順5以降は、必要ありません。

<プロジェクター検索> 画面を用いて、1 台もしくは複数台のプロジェクターを使用する場合



[さらに検索する...] をクリックし、<プロジェクター検索> 画面を表示してください。



以降、操作手順5にお進みください。

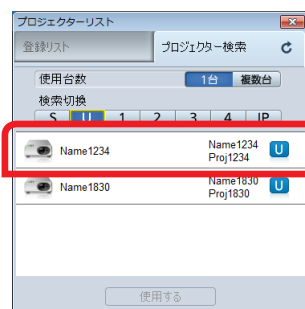
5 使用するプロジェクターの台数に応じて [使用台数] ボタンの **1台**、または **複数台** をクリックし、[検索切換] ボタンの **U** をクリックする

6 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックする

複数台のプロジェクターを同時に使用する場合は、使用するプロジェクターをすべて選んでください。



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)




<プロジェクター検索> 画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)


- ネットワークの設定を正しく行ってもプロジェクターが見つからない場合は、「IPアドレス検索で使用する」(35 ページ) をご利用ください。

7 [使用する] をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

 「ランチャー」 (38 ページ)

お知らせ

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
 「プロジェクターを確認する」 (15 ページ)
- 複数台のプロジェクターを選択して使用する場合は、[使用台数] ボタンの **複数台** を選択してください。
最大で8台のプロジェクターを同時に使用することができます。

 20 ページ

[M-DIRECT] の設定で使用する

プロジェクターとコンピューターとをインフラストラクチャーモードでダイレクトに接続します。
(アクセスポイントは不要です。)

🔗 [「インフラストラクチャーモード」\(60 ページ\)](#)

- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて、プロジェクター名とネットワーク ID を確認しておきます。

🔗 [「プロジェクターを確認する」\(15 ページ\)](#)

■ プロジェクターの設定

1 プロジェクターのネットワーク設定をする

① メニュー画面から[ネットワーク] ➡ [無線 LAN] で[M-DIRECT] を選択する

② ネットワークの設定をする

🔗 [プロジェクターの取扱説明書](#)

工場出荷時の設定内容	
SSID	M-DIRECT + ネットワーク ID の下 4 桁
IP アドレス	192.168.12.100
サブネットマスク	255.255.255.0
チャンネル	1
キー	M-DIRECT + ネットワーク ID の下 4 桁 例: "M-DIRECT1234"

お願い

- 上記以外の内容にするときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 工場出荷時の状態のままの[キー]は、第三者による情報の漏えいの危険があります。必ず、工場出荷時の値から変更してください。


■ コンピューターの設定

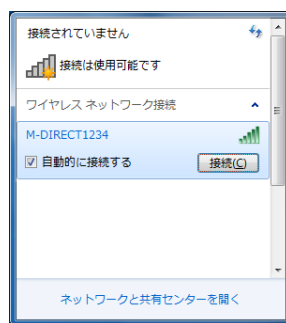
2 プロジェクターの設定に合わせて、コンピューターのネットワークを設定する

プロジェクターが工場出荷時の状態の場合は、コンピューターの DHCP 機能を「オン」にして使用してください。

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

3 プロジェクターに設定されているネットワークに接続する

タスクトレイ (Windows 画面の右下) の  をクリックして、プロジェクターに設定されている SSID と同じ名前を選択してください。

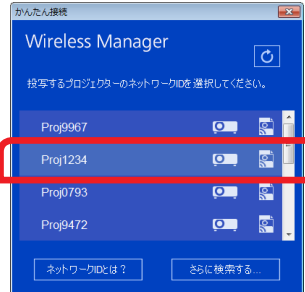


■ プロジェクターの選択

4 本ソフトウェア を起動して＜かんたん接続＞画面を表示する

🔗 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)

＜かんたん接続＞画面を用いて、1 台のプロジェクターを使用する場合

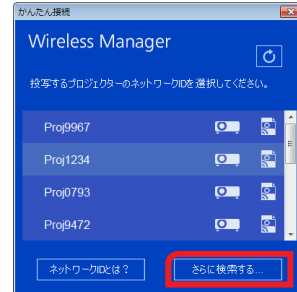


リストからプロジェクターに表示されているネットワーク ID に一致するプロジェクターをクリックし選択します。

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

操作手順 5 以降は、必要ありません。

＜プロジェクター検索＞画面を用いて、1 台のプロジェクターを使用する場合



[さらに検索する...] をクリックし、＜プロジェクター検索＞画面を表示してください。

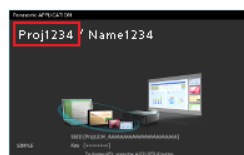


以降、操作手順 5 にお進みください。

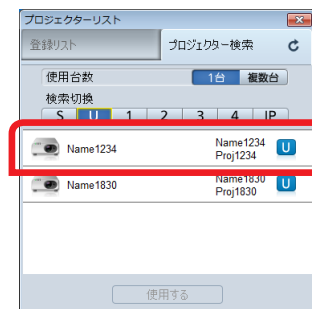
5 [使用台数] ボタンの **1 台** をクリックし、[検索切換] ボタンの **U** をクリックする

6 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワーク ID に一致するプロジェクターをクリックする

複数台のプロジェクターを同時に使用する場合は、使用するプロジェクターをすべて選んでください。



ネットワーク ID の表示箇所
(プロジェクターの映像)



＜プロジェクター検索＞画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

- ネットワークの設定を正しく行ってもプロジェクターが見つからない場合は、「IP アドレス検索で使用する」(35 ページ) をご利用ください。

7 [使用する] をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔗 「ランチャー」(38 ページ)

🔗 お知らせ

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワーク ID の表示箇所は異なる場合があります。

🔗 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

有線LANで接続して使用する

有線LANを使ってプロジェクターとコンピューターを接続します。

- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて、プロジェクター名とネットワークIDを確認しておきます。

🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

■ プロジェクターの設定

1 プロジェクターのネットワーク設定をする

- ① メニュー画面から[ネットワーク]で[有線LAN]を選択する
- ② ネットワークの設定をする

🔗 プロジェクターの取扱説明書

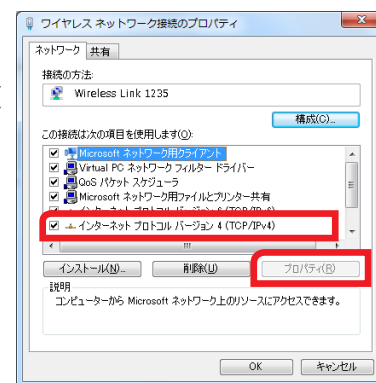
工場出荷時の設定内容	
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1

■ コンピューターの設定

2 TCP/IP の設定を変更する

Windows Vista/Windows 7 の場合

- ① [スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] ➡ [ネットワークと共有センター] ➡ [アダプターの設定の変更]を選択する
- ② 変更する接続を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
- ③ [ネットワーク]タブをクリックする
- ④ 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックする



プロジェクターを選択する

Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 の場合

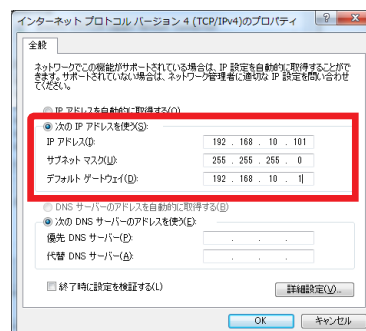
- ① キーボードの[Windows ロゴ]を押しながら[X]を押し、[コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] ➡ [ネットワークと共有センター] ➡ [アダプターの設定の変更]を選択する
- ② 変更する接続を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
- ③ [ネットワーク]タブをクリックする
- ④ 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックする

3 プロジェクターの設定に合わせて、コンピューターのネットワークを設定する

[次のIPアドレスを使う]をクリックし、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」のボックスに値を入力する

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

ネットワーク設定が工場出荷時のプロジェクターと接続する場合	
IPアドレス	192.168.10.101
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1



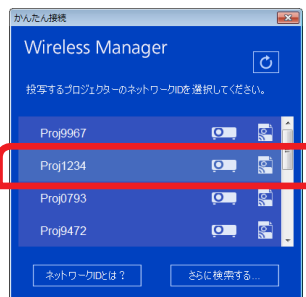
有線LANで接続して使用する(つづき)

■ プロジェクターの選択

4 本ソフトウェア を起動して＜かんたん接続＞画面を表示する

 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)

＜かんたん接続＞画面を用いて、1 台のプロジェクターを使用する場合



リストからプロジェクターに表示されているネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックし選択します。

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。操作手順5以降は、必要ありません。

＜プロジェクター検索＞画面を用いて、1 台もしくは複数台のプロジェクターを使用する場合



[さらに検索する...] をクリックし、＜プロジェクター検索＞画面を表示してください。



以降、操作手順5にお進みください。

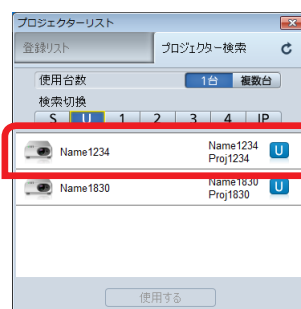
5 使用するプロジェクターの台数に応じて[使用台数] ボタンの **1台**、または **複数台** をクリックし、[検索切換] ボタンの **U** をクリックする

6 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックする

複数台のプロジェクターを同時に使用する場合は、使用するプロジェクターをすべて選んでください。



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



＜プロジェクター検索＞画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)


- ネットワークの設定を正しく行ってもプロジェクターが見つからない場合は、「IPアドレス検索で使用する」(35 ページ) をご利用ください。

7 [使用する]をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

 [「ランチャー」\(38 ページ\)](#)

お知らせ

- コンピューターのネットワークを設定するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
 [「プロジェクターを確認する」\(15 ページ\)](#)
- 複数台のプロジェクターを選択して使用する場合は、[使用台数] ボタンの **複数台** を選択してください。
最大で8台のプロジェクターを同時に使用することができます。

 [20 ページ](#)

USB ディスプレイ機能を使用する

USB ディスプレイ機能は、コンピューターとプロジェクターをUSB ケーブルで接続して、コンピューターの画面や音声をプロジェクターに送信する機能です。

ただし、Windows 10 をご使用の場合、この機能は使えません。

1 プロジェクターとコンピューターの電源を入れる

2 USB ディスプレイ機能を有効にする

- プロジェクターがPT-VZ575N/PT-VW535N/PT-VX605N、PT-VW345N/PT-VX415N、またはPT-VW355N/PT-VX425Nの場合
この手順の操作は不要です。手順3に進んでください。
- プロジェクターがPT-VZ575N/PT-VW535N/PT-VX605N、PT-VW345N/PT-VX415N、またはPT-VW355N/PT-VX425N以外の場合
プロジェクターの設定メニューで[USB 端子]を[ディスプレイ]に設定してください。

 プロジェクターの取扱説明書

3 プロジェクターとコンピューターをUSB ケーブルで接続する

本ソフトウェアが自動的に起動し、投写を開始します。

お知らせ

- USB ディスプレイ機能を使用できるプロジェクターが対象です。
NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003Bは、この機能を使用できません。
プロジェクターごとの対応機能については、使用している機種がNTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合は弊社WEB サイト (<http://www2.panasonic.biz/ls/lighting/>) またはCD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応機能一覧表」をご覧ください。これ以外の機種の場合は、弊社WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) の「対応プロジェクター機種一覧表」、または、プロジェクターの付属品に本ソフトウェアのCD-ROM がある場合はCD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。
- 投写中にUSB ケーブルを抜いた後で、再度USB ケーブルを接続する場合は、しばらく（10 秒以上）待ってから接続してください。
- USB ケーブルは、コンピューターのUSB コネクタに直接接続してください。USB ハブなどを経由して接続すると動作しないことがあります。
- 使用するコンピューターのUSB ポートを変更すると、再度「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示され、接続の設定を行う必要があります。
- Windows 8/Windows 8.1 で使用する場合、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に起動しない場合があります。
その場合は、「デバイスマネージャー」➡「ほかのデバイス」➡「RNDIS/Ethernet Gadget」の項目を選び、手動でUSB ディスプレイドライバーをインストールしてください。

プロジェクターを選択する

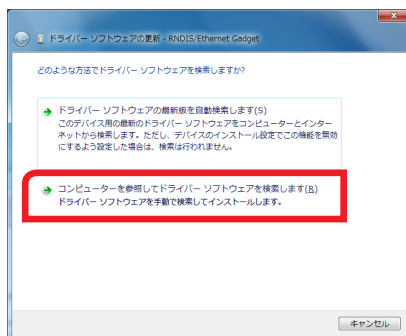
● USB ケーブル接続時に＜新しいハードウェアの検索ウィザードの開始＞画面が表示された場合

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

- USB ディスプレイドライバーは、WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) からダウンロードすることができます。

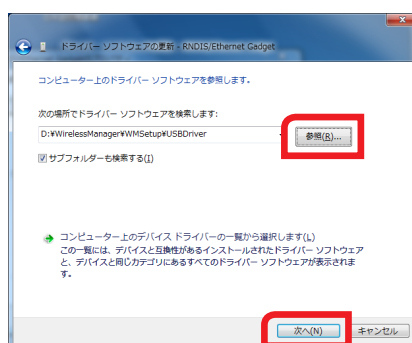
USBディスプレイ機能を使用する(つづき)

2 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする



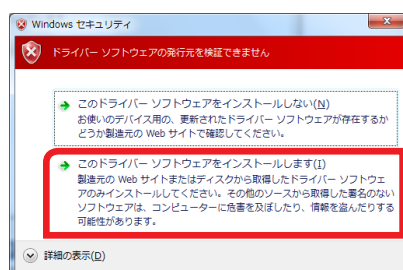
3 「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」の[参照]をクリックし、「フォルダーの参照」ダイアログでCD-ROM内の「USBDriver」フォルダーを選択して、[OK]をクリックする

- 「USBDriver」フォルダーは、CD-ROM内の「¥WirelessManager¥WMSetup」フォルダーにあります。
- WEBサイトからダウンロードした場合は、ダウンロードして生成された「USB_Display_Driver」フォルダーを選択します。

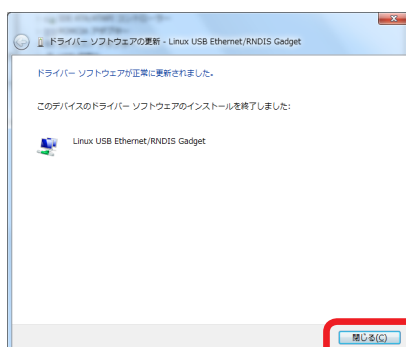


4 ウィザード画面に戻るので、[次へ]をクリックする

5 <Windows セキュリティ> 画面が表示されるので、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする



6 [閉じる]をクリックする



IP アドレス検索で使用する

プロジェクターのIPアドレスを直接入力し、プロジェクターを検索します。

- プロジェクターとコンピューターをあらかじめ通信可能なネットワークに接続しておく必要があります。
詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。
- あらかじめ、プロジェクターの電源を入れて待ち受け画面を表示しておきます。
🔗 「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

1 本ソフトウェア を起動して＜かんたん接続＞画面を表示する

🔗 「ソフトウェアを起動する」(17 ページ)



[さらに検索する...]をクリックし、＜プロジェクター検索＞画面を表示してください。



2 使用するプロジェクターの台数に応じて[使用台数] ボタンの **1台**、または **複数台** をクリックし、[検索切替] ボタンの **IP** をクリックする



■ 1 台のプロジェクターと通信する場合

3 使用するプロジェクターのIPアドレスを入力し をクリックする



IPアドレス検索で使用する(つづき)

4 検索したプロジェクターのプロジェクター名とネットワークIDを確認したうえで[使用する]をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔗「ランチャー」(38 ページ)



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



＜プロジェクター検索＞画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

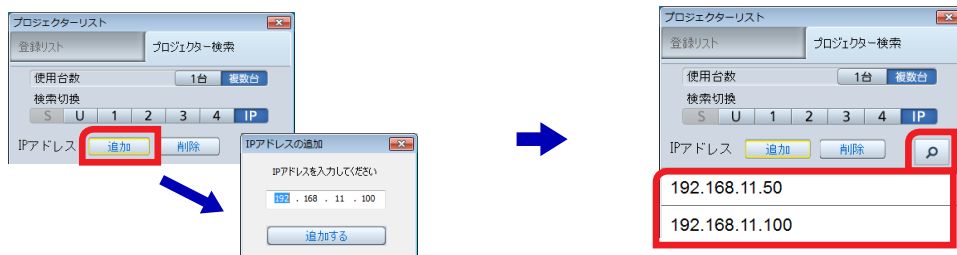
🔗お知らせ🔗

- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)

■ 複数台のプロジェクターと通信する場合

3 [追加]をクリックして、使用するプロジェクターすべてのIPアドレスを入力し、🔍をクリックする

- 入力したIPアドレスを削除する場合は、削除するIPアドレスを選択し、[削除]をクリックします。



プロジェクターを選択する

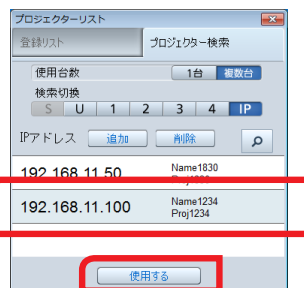
4 検索したプロジェクターのプロジェクター名とネットワークIDを確認したうえで[使用する]をクリックする

プロジェクターが投写できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔗「ランチャー」(38 ページ)



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



＜プロジェクター検索＞画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

🔗お知らせ🔗

- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
🔗「プロジェクターを確認する」(15 ページ)
 - 複数台のプロジェクターを選択して使用する場合は、[使用台数] ボタンの **複数台** を選択してください。
最大で8台のプロジェクターを同時に使用することができます。
- 🔗 20 ページ

プロジェクターにパスワードが設定されている場合

パスワードが設定されているプロジェクターに接続した場合、＜パスワード入力＞画面が表示されます。プロジェクターに設定されているネットワークのパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

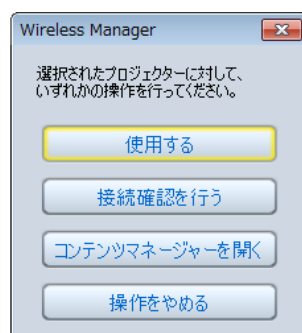


お知らせ

- ＜パスワード入力＞画面で [キャンセル] をクリックすると、プロジェクターを選択する前の画面に戻ります。パスワードの設定方法については、使用しているプロジェクターの取扱説明書を確認してください。
- 使用するプロジェクターの中にパスワードが必要なプロジェクターが複数台あった場合は、1 台ごとに＜パスワード入力＞画面が表示されます。ネットワーク ID を確認して、該当するパスワードを入力してください。

プロジェクターがコンテンツマネージャーを搭載している場合

コンテンツマネージャーを搭載しているプロジェクターに接続した場合、次の選択画面が表示されます。



[使用する]

プロジェクターと接続して、投写ができる状態になります。

[接続確認を行う]

接続しようとしているプロジェクターのインジケータを点滅させます。

[コンテンツマネージャーを開く]

コンピューターのWEB ブラウザーを使って、コンテンツマネージャーを表示します。

[操作をやめる]

プロジェクターを選択する画面に戻ります。

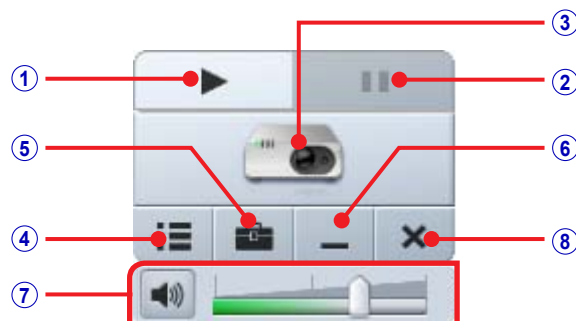
お知らせ

- コンテンツマネージャーにて、サインージ再生/サインージ設定の状況が確認できます。サインージ再生機能/サインージ設定機能の詳細については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

ランチャーを操作する

本ソフトウェアを起動すると、＜かんたん接続＞画面とともにランチャーが表示されます。
プロジェクターの操作（投写の開始や停止）や音量調整、また他の画面を表示するなどさまざまな操作をランチャーで行うことができます。
プロジェクターと通信ができているときは、投写を制御するボタンの操作が有効になります。

■ ランチャー



① 投写の開始と停止を行います。

投写中は、（停止）に変わります。

② 投写を一時停止します。

投写中のみ操作ができます。
操作を行ったときの画像で静止します。

③ プロジェクターとの通信状態をアイコンで表示します。

1 台のプロジェクターと通信しているときは、プロジェクターが 1 台のアイコンが表示されます。
また、複数台のプロジェクターと通信しているときは、プロジェクターが 3 台のアイコンが表示されます。



投写不可

プロジェクターが選択されておらず、通信していない状態です。



投写可能

プロジェクターが選択されており、通信している状態です。



投写中

現在、プロジェクターから投写しており、通信している状態です。

④ ＜かんたん接続＞画面、＜登録リスト＞画面、または＜プロジェクター検索＞画面を表示します。

プロジェクターを選択する画面を表示します。このとき、投写するプロジェクターを選択したときに使用した画面を表示します。

⑤ ＜オプション＞画面を表示します。

48 ページ

⑥ ランチャーの表示を最小にします。

⑦ 音量を調整します。（初期設定では、表示されません。）

39 ページ

⑧ 本ソフトウェアを終了します。

39 ページ

お知らせ

- ランチャーの位置は、マウスでドラッグして自由に変えることができます。
- ランチャーの表示を最小にしてタスクバーに収納したときは、タスクバー内の をクリックすることで、ランチャーを再度表示させることができます。
- 「プロジェクターの選択と同時に投写を開始する」(48 ページ) を有効にしている場合は、プロジェクターとの通信が完了すると、 をクリックしなくても投写を開始します。
- 動画再生用のアプリケーションによっては、動画部分が再生されないことがあります。

ランチャーを操作する(つづき)

- スタンバイ状態のプロジェクターをランチャーで開始操作を行うと、電源が入って投写を開始します。



お願い

- プロジェクターの電源を入れる操作をする際は、プロジェクター周辺の人の目に突然光源からの光が入ることがないように注意してください。

お知らせ


- 電源コンテンツは、突然プロジェクターが投写を開始してもプロジェクター周辺の人の目に光源からの光が入らない設置環境の場合のみタイムテーブルに登録してください。

■ 音量を調節する

- ランチャーの   を調整する
出力される音量を調整することができます。



■ 音量を調整するアイコンが表示されない場合

ランチャーの  をクリックして＜オプション＞画面を開き、[設定] ➡ 「投写時に映像と一緒に音声も出力する」にチェックをつけてください。

🔗 「オプションの設定」(48 ページ)

お知らせ

- 本ソフトウェアをインストールしないで使用している場合は、利用できません。
- 複数台のプロジェクターと同時に通信している場合は、利用できません。
- ランチャーでの音量設定は、Windowsの音量設定とは別の無線LAN接続専用の音量設定となります。本ソフトウェアを終了すると、元のWindowsの音量設定に戻ります。投写中のみ、コンピューターの音声をプロジェクターから出力することができます。

■ ソフトウェアを終了する

- ランチャーの  をクリックする



お知らせ

- オプションの設定「起動時にかんたん接続画面を表示する」にチェックが入っておらず、登録リストにプロジェクターが1台も登録されていない場合、最後に使用したプロジェクターが自動的に登録されます。このとき、複数台のプロジェクターを使用していた場合には、グループとして自動的に登録されます。次回、＜登録リスト＞画面から同じプロジェクターを選ぶことができ、手軽に投写することができます。
- 🔗 「登録済みのプロジェクターを選択する」(22 ページ)

プロジェクターまたはグループを登録する

本ソフトウェアの<登録リスト>画面には、プロジェクター、および複数のプロジェクターで構成されるグループを合計4つまで登録することができます。

プロジェクターを登録することで、ワンクリックでコンピューターの画面をプロジェクターを使って投写することができます。



<登録リスト>画面の<プロジェクターを登録できます>をクリックすると<プロジェクター登録>画面が表示されます。

■ <プロジェクター登録> 画面



① [登録台数] ボタン

プロジェクター 1 台を登録するか、複数台のプロジェクターで構成されるグループで登録するかを切り換えます。

② [検索切替] ボタン

検索方法を切り換えます。

🔍 「[検索切替] ボタン」 (20 ページ)

ボタン	検索するプロジェクター
	無線 LAN 接続が [シンプル]、[S-DIRECT]、または [S-MAP] に設定されているプロジェクターを検索します。 複数台のプロジェクターで、同時に投写することはできません。
	無線 LAN 接続が [USER1] ~ [USER3]、[M-DIRECT] に設定されているプロジェクター、または有線 LAN で接続したプロジェクターを検索します。
	無線 LAN 接続が [1] ~ [4] に設定されているプロジェクターを検索します。
	IP アドレスを指定してプロジェクターを検索します。

③ 更新ボタン

ボタンをクリックすることで、プロジェクターの検索結果を最新の状態に更新します。

④ [登録する] ボタン

選択したプロジェクターを登録して<登録リスト>画面に戻ります。

🔍 19 ページ

⑤ [キャンセル] ボタン

<登録リスト>画面に戻ります。

🔍 19 ページ

プロジェクターまたはグループを登録する(つづき)

ここでは、プロジェクターやグループを登録する手順を説明します。

1 本ソフトウェア を起動して<登録リスト>画面を表示する



2 <プロジェクターを登録できます>をクリックして<プロジェクター登録>画面を表示する



3 登録するプロジェクターの台数に応じて[登録台数] ボタンの **1台**、または **複数台** をクリックし、プロジェクターに表示されている無線 LAN 接続の設定に該当する[検索切換] ボタンをクリックする

無線 LAN 接続の設定が[シンプル]、[S-DIRECT]、または[S-MAP]のときは、**S** をクリックします。

その他の無線 LAN 接続の設定については、「[検索切換] ボタン」(20 ページ)の「検索するプロジェクター」を参照してください。

- <プロジェクター登録>画面を表示したときは、**1台** が選択されています。
- **複数台** を選択した場合は、**S** を選択することができません。



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



<プロジェクター登録>画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

4 プロジェクターに表示されているプロジェクター名とネットワークIDに一致するプロジェクターをクリックする



ネットワークIDの表示箇所
(プロジェクターの映像)



<プロジェクター登録>画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

プロジェクターまたはグループを登録する(つづき)

5 [登録する] をクリックする

登録したプロジェクターが<登録リスト>画面に表示されます。



<プロジェクター登録>画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)



<登録リスト>画面の表示例
(本ソフトウェアの画面)

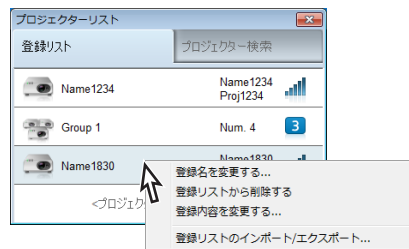
お知らせ

- 使用するプロジェクターにより、プロジェクター名とネットワークIDの表示箇所は異なる場合があります。
👉「[プロジェクターを確認する](#)」(15 ページ)
- 無線LAN設定が[シンプル]の場合は、ネットワークIDが登録名として登録されます。その他の無線LAN設定の場合は、プロジェクター名が登録名として登録されます。
登録名を変更する場合は、「[登録した名前を変更する](#)」(43 ページ)を参照してください。
- 複数のプロジェクターをグループで登録する場合は、[登録台数]ボタンの **複数台** を選択して、使用するプロジェクターをすべて選んで登録してください。
- 複数のプロジェクターをグループで登録する場合は、それぞれのプロジェクターの無線LAN接続の設定が同一である必要があります。

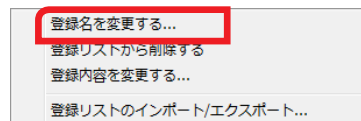
登録した名前を変更する

＜登録リスト＞画面に登録したプロジェクターやグループの登録名を変更します。

1 ＜登録リスト＞画面で、名前を変更するプロジェクター、またはグループにマウスカーソルを移動して右クリックする



2 [登録名を変更する] をクリックする



3 新しい名前を入力して [OK] をクリックする



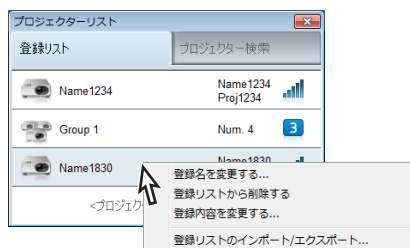
お知らせ

- 入力できる文字数は、最大で16文字です。
- 下記の文字は、使用することができません。
¥ / : * ? ^ < > |

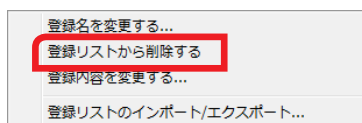
登録したプロジェクターまたはグループを削除する

＜登録リスト＞画面に登録したプロジェクターやグループを削除します。

- 1 ＜登録リスト＞画面で、削除するプロジェクター、またはグループにマウスカーソルを移動して右クリックする



- 2 [登録リストから削除する] をクリックする



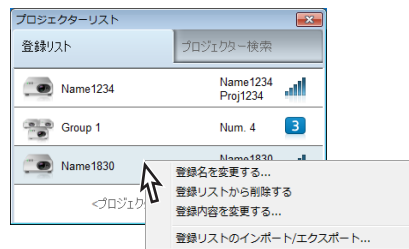
- 3 削除を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックする



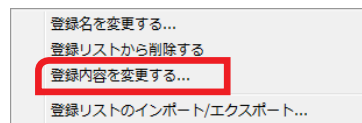
別のプロジェクターまたはグループに変更する

＜登録リスト＞画面に登録したプロジェクターやグループを、別のプロジェクターやグループに変更します。

- 1 ＜登録リスト＞画面で、変更するプロジェクター、またはグループにマウスカーソルを移動して右クリックする



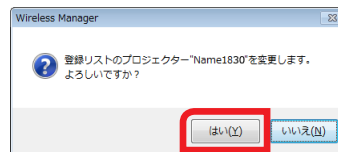
- 2 [登録内容を変更する] をクリックする



- 3 別のプロジェクターを検索する

🔍 「プロジェクターまたはグループを登録する」 (40 ページ)

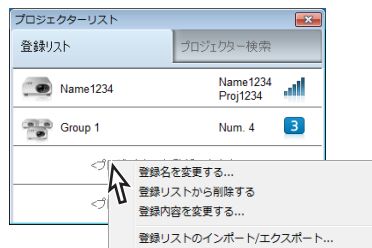
- 4 変更を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックする



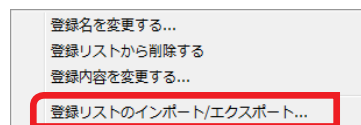
登録リストをエクスポートする

登録リストの情報をファイルへエクスポートすることができます。
別のコンピュータに登録リストの情報を移行するときに便利です。

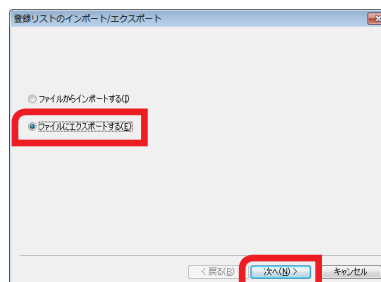
1 <登録リスト> 画面の上にマウスカースルを移動して右クリックする



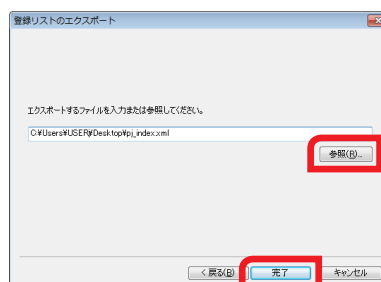
2 [登録リストのインポート/エクスポート]をクリックする



3 「ファイルにエクスポートする」を選択して[次へ]をクリックする



4 [参照]をクリックする



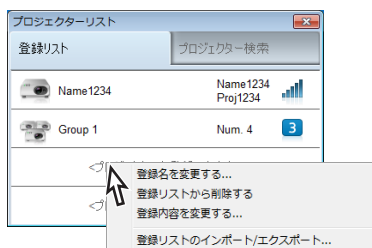
エクスポート先を参照する画面が表示されますので、エクスポート先のフォルダーを選択して[完了]をクリックしてください。

- ファイル名を指定しない場合は、ファイル名として「pj_index.xml」が自動的に設定されます。

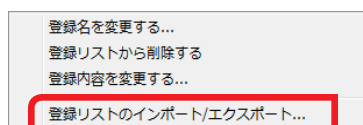
登録リストをインポートする

別のコンピュータでエクスポートした登録リストの情報をインポートすることができます。
別のコンピュータで作られた登録リストの情報を移行するときに便利です。

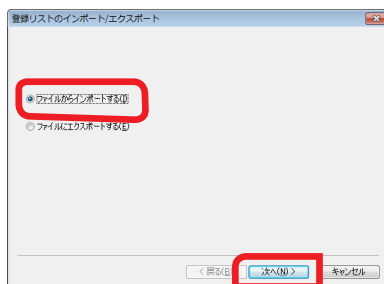
1 <登録リスト> 画面の上にマウスカースルを移動して右クリックする



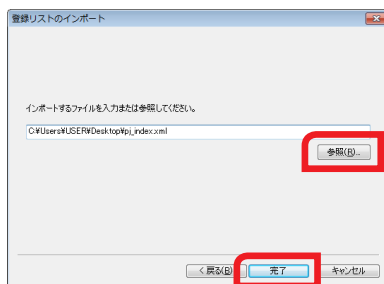
2 [登録リストのインポート/エクスポート] をクリックする



3 「ファイルからインポートする」を選択して[次へ]をクリックする

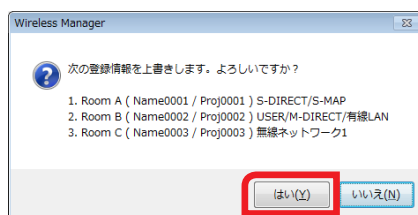


4 [参照] をクリックする




インポート先を参照する画面が表示されますので、インポートするファイル (拡張子: xml) を選択して[完了]をクリックしてください。

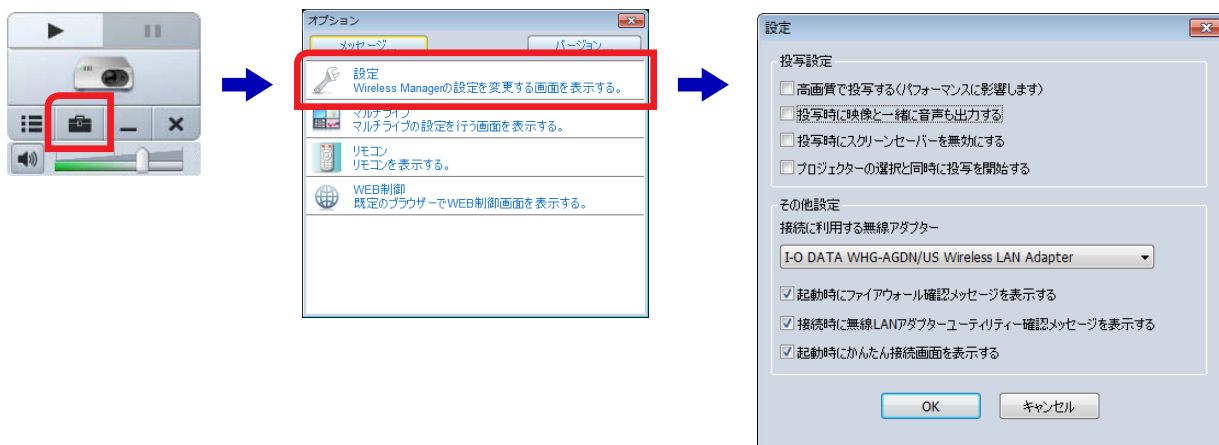
5 インポートする内容を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックする



オプションの設定

オプション機能を使って、投写時の設定などを変更することができます。

<オプション>画面を開くには、ランチャーの  [オプション] をクリックします。



■ 投写設定

■ 「高画質で投写する(パフォーマンスに影響します)」

投写映像を高画質で投写します。

ただし、画質を優先するため投写映像の表示速度が遅くなる場合があります。

投写映像の表示速度を優先する場合は、チェックを外します。

■ 「投写時に映像と一緒に音声も出力する」

投写中にプロジェクターから音声を出力します。

音声を出力しない場合は、チェックを外します。

- 本ソフトウェアをインストールしないで使用している場合は、利用できません。
- 複数台のプロジェクターと同時に通信している場合は、利用できません。


■ 「投写時にスクリーンセーバーを無効にする」

投写中、コンピュータのスクリーンセーバー機能を無効にします。

- パスワード付きのスクリーンセーバーが無効になりますので、席を離れる場合には注意してください。

■ 「プロジェクターの選択と同時に投写を開始する」

<登録リスト>画面、または<プロジェクター検索>画面からプロジェクターを選択すると、自動的に投写が始まります。

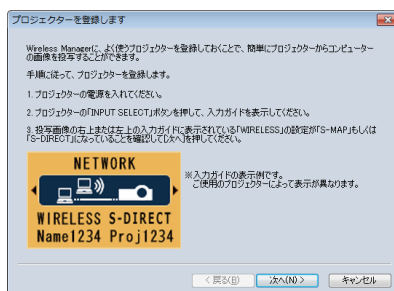
ランチャーの  をクリックする必要はありません。

■ その他設定

■ 「起動時にかんたん接続画面を表示する」

本ソフトウェア起動時に、チェックが入っていると、<かんたん接続>画面を表示し、チェックが外れてあると、<プロジェクター登録>または<プロジェクター検索>画面を表示します。

- チェックを外し、プロジェクターを1台も登録していない場合、本ソフトウェアの起動時に<プロジェクターを登録します>画面が表示されます。使用するプロジェクターの電源を入れ、画面の指示に従ってソフトにプロジェクターを登録してください。



📌 お知らせ 📌

- プロジェクターを登録しないで操作を終了する場合は、[キャンセル] をクリックします。

オプションの設定 (つづき)

■「接続に利用する無線LANアダプター」

プロジェクターと通信を行う無線LANアダプターを選択します。

無線LANアダプターが複数存在する場合などに、優先的に使用するアダプターを指定してください。

■「起動時にファイアウォール確認メッセージを表示する」

本ソフトウェアの起動時に、動作しているファイアウォールの確認メッセージを表示します。

常に確認メッセージを表示させたくない場合は、チェックを外します。

■「接続時に無線LANアダプターユーティリティ確認メッセージを表示する」

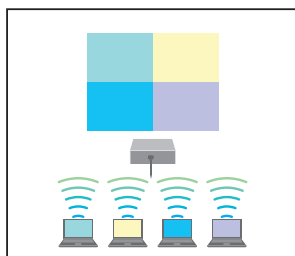
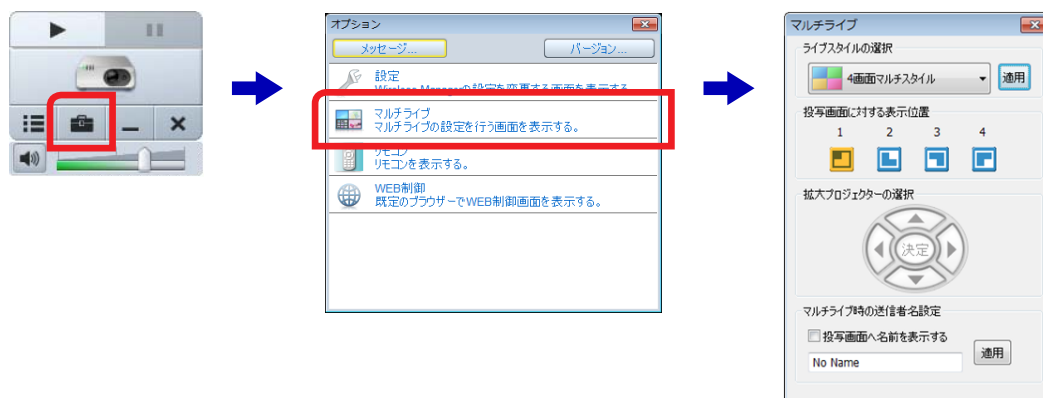
ネットワークの接続を切り換えるときに、動作している無線LANアダプターユーティリティの確認メッセージを表示します。

常に確認メッセージを表示させたくない場合は、チェックを外します。

マルチライブモード

マルチライブモードを利用すると、1台のプロジェクターに複数のコンピューターから多人数での投写を行うことができます。

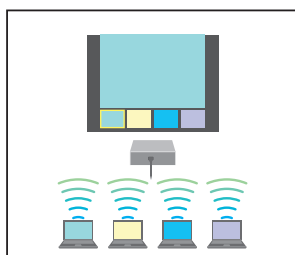
複数のコンピューターを使った参加型ミーティングをする場合に便利な機能です。



4人のコンピューターでプレゼンテーションができる

<4画面マルチスタイル> [📖 52 ページ](#)

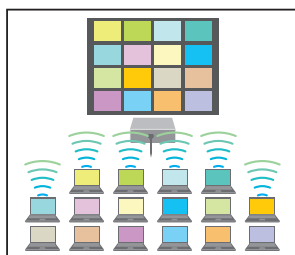
最大4台のコンピューター画面を同時に表示します。
それぞれのコンピューター画面が同時に確認できるので、全員参加型ミーティングに最適です。



最大4台のコンピューターを使ってプレゼンターが議事を進行する

<4画面インデックススタイル> [📖 53 ページ](#)

4台のコンピューター画面をサムネイル表示し、リモコンで選択したコンピューターの画面を全画面で表示できます。
プレゼンターが映像を駆使しながらプレゼンテーションを進行でき、状況に応じた説明が行えます。



大学のゼミや学会で威力を発揮する多人数対応のスタイル

<16画面インデックススタイル> [📖 54 ページ](#)

16台のコンピューター画面をサムネイル表示します。
大学のゼミや学会、グループ学習など、多くのコンピューターの画面を一覧で表示したい場合に最適です。

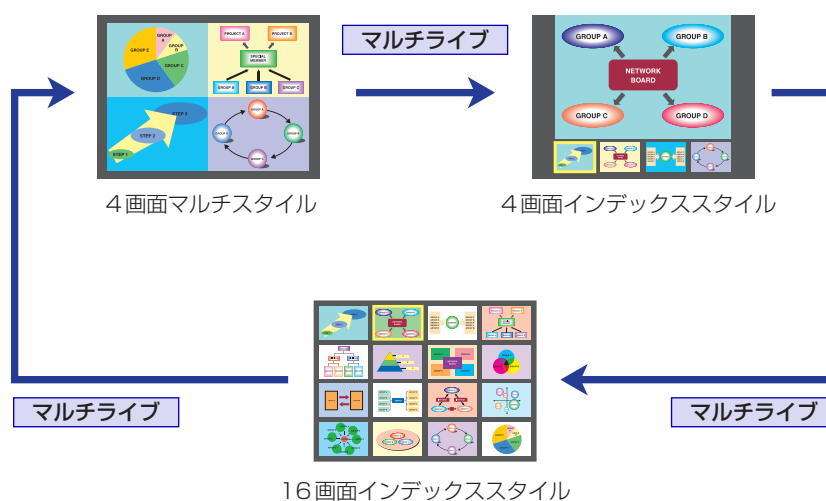
マルチライブモード (つづき)

■ ライブスタイルの切り換え方法

● プロジェクターのメニューでスタイルを切り換える

プロジェクターの「ネットワーク」メニューから「マルチライブ」を選択し、＜決定/ENTER＞ボタンを押します。

📖 プロジェクターの取扱説明書



● 本ソフトウェアでスタイルを切り換える

本ソフトウェアの＜マルチライブ＞画面でスタイルを選びます。

📌 お知らせ 📌

- プロジェクター起動時は、プロジェクターの電源を切る前に使用していたスタイルが選択されます。
- プロジェクターと通信していないと、「送信者名の設定」(55 ページ) 以外、＜マルチライブ＞画面の操作をすることができません。
プロジェクターとの通信の状態を、「ランチャー」(38 ページ) のアイコンにより知ることができます。
- 複数台のプロジェクターと通信しているときは、＜マルチライブ＞画面の操作をすることができません。
- マルチライブモードを終了する場合は、「ライブスタイルの選択」から[全画面スタイル]を選び、[適用]をクリックしてください。
- 16画面インデックススタイルで5台以上のコンピューターと通信している場合、4画面マルチスタイルに切り換えると、5台目以降のコンピューターの通信が切断されます。
- プロジェクターから全画面で投写しているときは、ライブスタイルが選択できません。
プロジェクターからの投写を停止してから、ライブスタイルを選択してください。

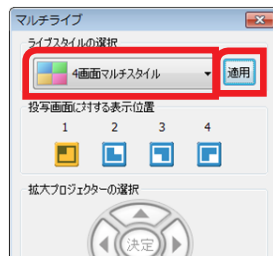
マルチライブモード (つづき)

■ 4画面マルチスタイル

最大4台までのコンピュータの画面を、1台のプロジェクターから同時に投写します。

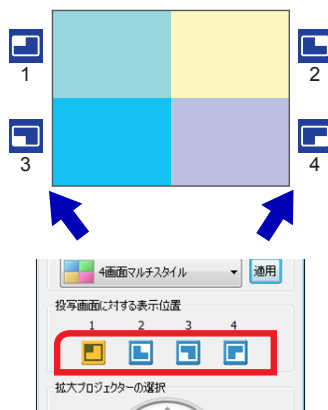
1 ランチャーの  をクリックし、＜オプション＞画面の「マルチライブ」をクリックする
 「本ソフトウェアでスタイルを切り換える」(51 ページ)

2 「ライブスタイルの選択」から[4画面マルチスタイル]を選び[適用]をクリックする



3 投写したい位置のアイコンをクリックする

- スクリーン面のどの位置に投写するかを選択してください。



4 ランチャーの  をクリックする

コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

- 投写位置を切り換える

投写する位置を変更する場合は、「投写画面に対する表示位置」のアイコンをクリックして変更してください。

- 4画面マルチスタイルを解除する

4画面マルチスタイルを解除する場合は、「ライブスタイルの選択」から[全画面スタイル]を選び、[適用]をクリックしてください。

お知らせ

- すでにコンピュータの画面が投写されている位置に他のコンピュータからの画面が投写された場合は、あとから投写したコンピュータの画面に切り換わります。
- 全画面ライブを実施している場合、または他端末が「4画面マルチスタイル」使用時のみ、「4画面マルチスタイル」の選択ができます。

マルチライブモード (つづき)

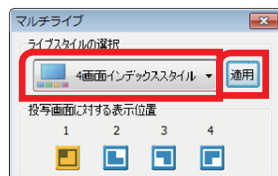
■ 4画面インデックススタイル

最大4台までのコンピュータの画面を、1台のプロジェクターからインデックス画面と大画面で同時に投写します。

1 ランチャーの をクリックし、<オプション>画面の「マルチライブ」をクリックする

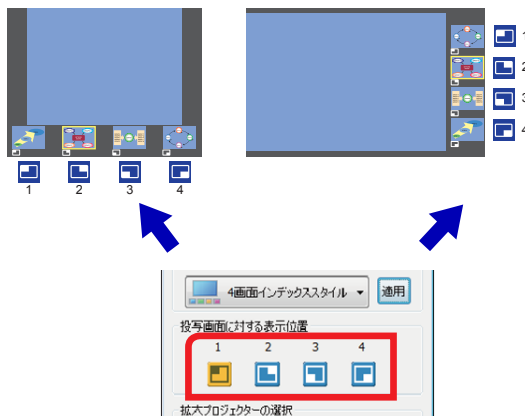
 「本ソフトウェアでスタイルを切り換える」(51 ページ)

2 「ライブスタイルの選択」から[4画面インデックススタイル]を選び[適用]をクリックする



3 投写したい位置の番号をクリックする

- インデックス画面 (小画面) のどの位置に投写するかを選択してください。





4 ランチャーの をクリックする


コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。


● 投写位置を切り換える

投写する位置を変更する場合は、「投写画面に対する表示位置」のアイコンをクリックして変更してください。

● 全画面に表示する

全画面に表示する場合は、「拡大プロジェクターの選択」の  をクリックして対象のインデックス画面を選択 (黄色の枠を移動) し、 をクリックします。

再度、 をクリックすると、全画面に表示されます。


インデックス画面に戻る場合は、もう一度  をクリックしてください。

● 4画面インデックススタイルを解除する

4画面インデックススタイルを解除する場合は、「ライブスタイルの選択」から[全画面スタイル]を選び、[適用]をクリックしてください。



お知らせ

- 4画面インデックススタイルで他のコンピュータが投写している場合は、未使用のインデックス画面 (小画面) にのみ投写することができます。
- 全画面表示とインデックス画面表示の切り換えは、プロジェクター側のメニューやリモコン (55 ページ) でも操作できます。
- 機種によっては、プロジェクターに付属されているリモコンに  (ページ) ボタンが付いている機種がありますが、このボタンで対象のインデックス画面 (黄色の枠) を操作することができません。

 プロジェクターの取扱説明書

マルチライブモード (つづき)

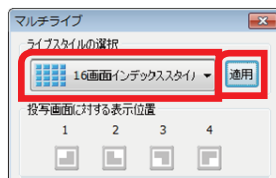
■ 16画面インデックススタイル

最大16台までのコンピュータの画面を、1台のプロジェクターから同時に投写します。

1 ランチャーの をクリックし、<オプション>画面の「マルチライブ」をクリックする

 「本ソフトウェアでスタイルを切り換える」(51 ページ)

2 「ライブスタイルの選択」から[16画面インデックススタイル]を選び[適用]をクリックする






3 ランチャーの をクリックする

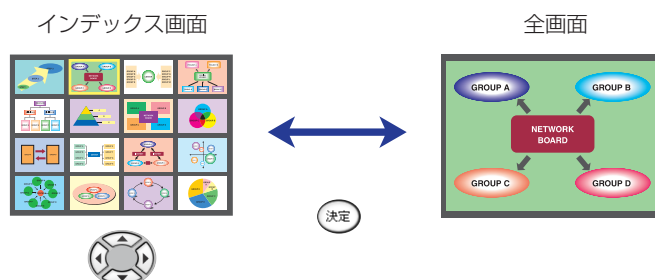
空いているインデックス画面 (小画面) に自動的にコンピュータの画面が投写されます。

表示する位置を選択することはできません。

● 全画面に表示する

全画面に表示する場合は、「拡大プロジェクターの選択」の  をクリックして対象のインデックス画面を選択 (黄色の枠を移動) し、 をクリックします。



再度、 をクリックすると、インデックス画面に戻ります。



● 16画面インデックススタイルを解除する

16画面インデックススタイルを解除する場合は、「ライブスタイルの選択」から[全画面スタイル]を選び、[適用]をクリックしてください。

お知らせ

- 16画面インデックススタイルで他のコンピュータが投写している場合は、未使用のインデックス画面 (小画面) にのみ投写することができます。
- 全画面表示とインデックス画面表示の切り換えは、プロジェクター側のメニューやリモコン (55 ページ) でも操作できます。
- 機種によっては、プロジェクターに付属されているリモコンに  (ページ) ボタンが付いている機種がありますが、このボタンで対象のインデックス画面 (黄色の枠) を操作することができません。
 プロジェクターの取扱説明書
- 機種によっては、無線LANを[シンプル]、[S-DIRECT]または[M-DIRECT]に設定している場合、無線LAN接続できる端末は最大10台です。

マルチライブモード (つづき)

■ 送信者名の設定

マルチライブモードでの投写映像に、送信者の名前を表示することができます。

1 <マルチライブ> 画面の「投写画面へ名前を表示する」にチェックを入れる

2 送信者名を入力し [適用] をクリックする

- 半角の英数字 (8文字まで) を入力してください。



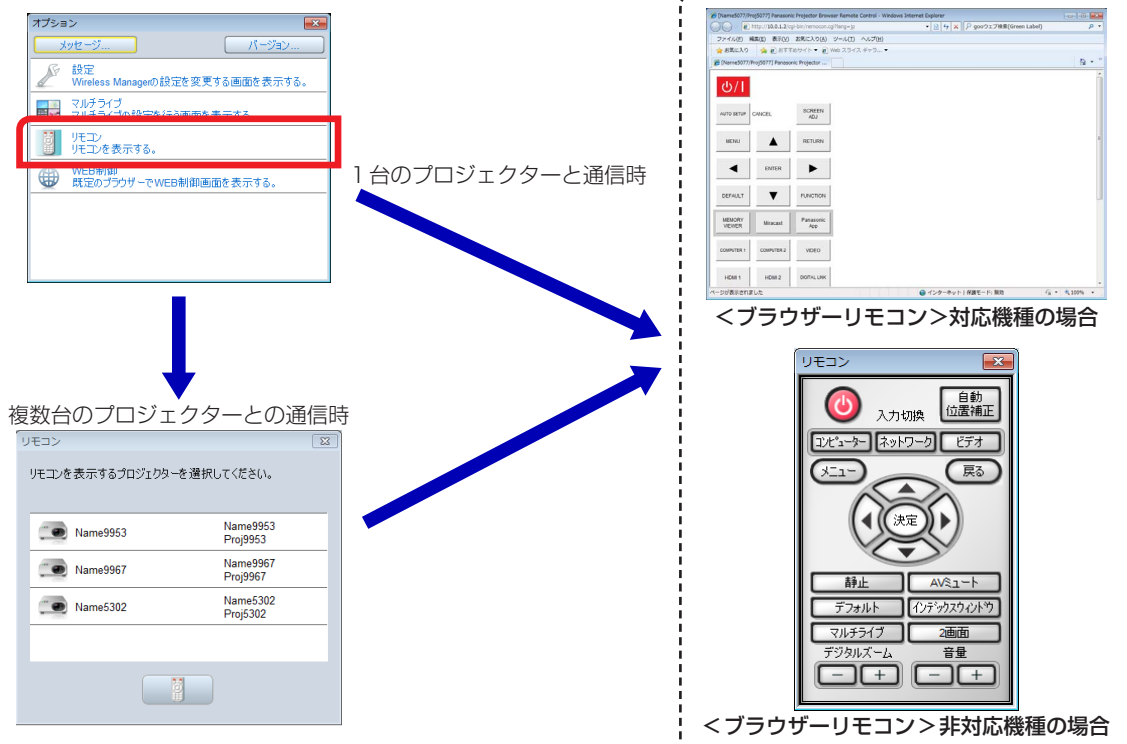
お知らせ

- 4画面インデックススタイル、または16画面インデックススタイルを使用している場合は、「投写画面へ名前を表示する」のチェックを外しても送信者名が表示されます。

リモコン

コンピューターの画面にリモコン、または、ブラウザーリモコンを表示して、プロジェクターを操作することができます。

ブラウザーリモコンとは、WEB ブラウザー上に表示した各種ボタンを用いてプロジェクターの操作を実現するものです。通信するプロジェクターの機種により表示するボタンは異なります。



リモコン (つづき)

お知らせ

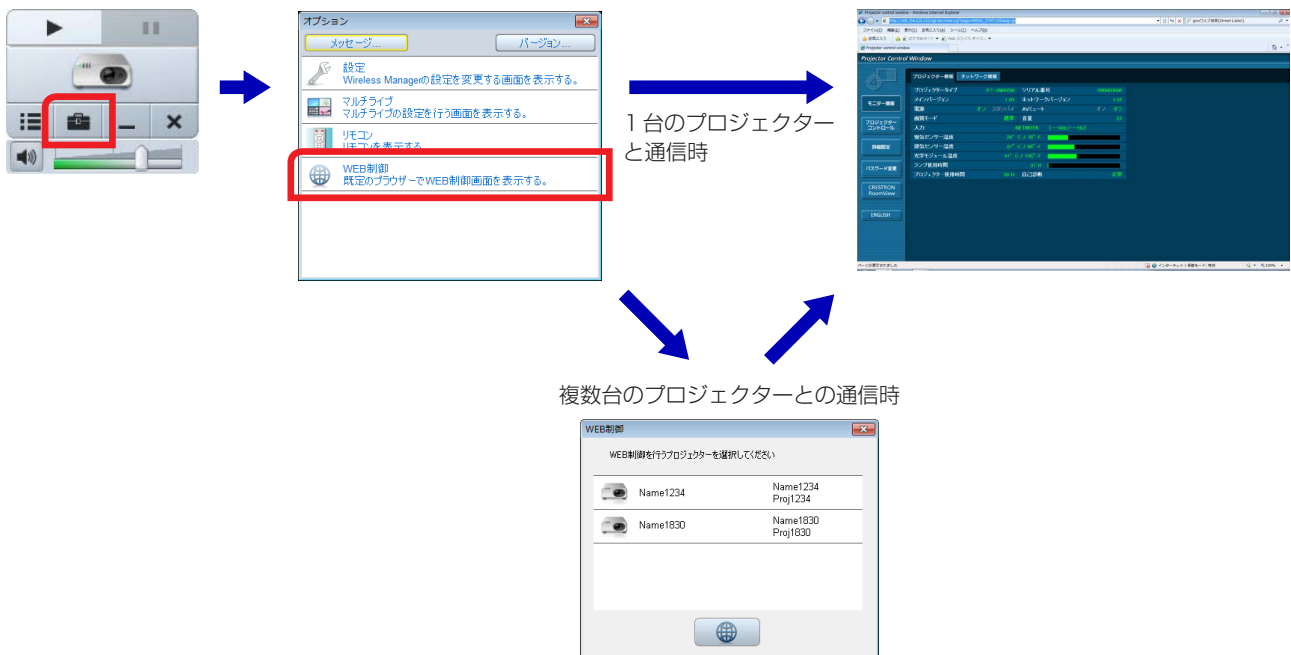
- プロジェクターと通信していないと操作することができません。
プロジェクターとの通信の状態を、「ランチャー」(38 ページ)のアイコンにより知ることができます。
- 複数台のプロジェクターを制御したい場合、それぞれのプロジェクターを選択して個別に制御してください。
- ブラウザリモコンを表示することができるのは、ブラウザリモコン対応機種のみです。
NTN91000W/NTN91000B、または、NTN91001W/NTN91001Bの場合は、ブラウザリモコンに対応していません。
プロジェクターごとの対応機能については、使用している機種がNTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003Bの場合は弊社WEBサイト (<http://www2.panasonic.biz/lis/lighting/>) またはCD-ROM内のアプリケーションランチャーにある「対応機能一覧表」をご覧ください。これ以外の機種の場合は、弊社WEBサイト (<http://panasonic.biz/projector/>) の「対応プロジェクター機種一覧表」、または、プロジェクターの付属品に本ソフトウェアのCD-ROMがある場合はCD-ROM内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。
- <ブラウザリモコン>非対応機種の場合、制御しているプロジェクターにより、利用できないボタンがあります。

WEB 制御

コンピューターのWEB ブラウザーを使用して、プロジェクターを制御することができます。

🔗 プロジェクターの取扱説明書、またはネットワーク操作編

- 複数台のプロジェクターと通信している場合は、操作するプロジェクターを選択して[WEB 制御]をクリックしてください。



お知らせ

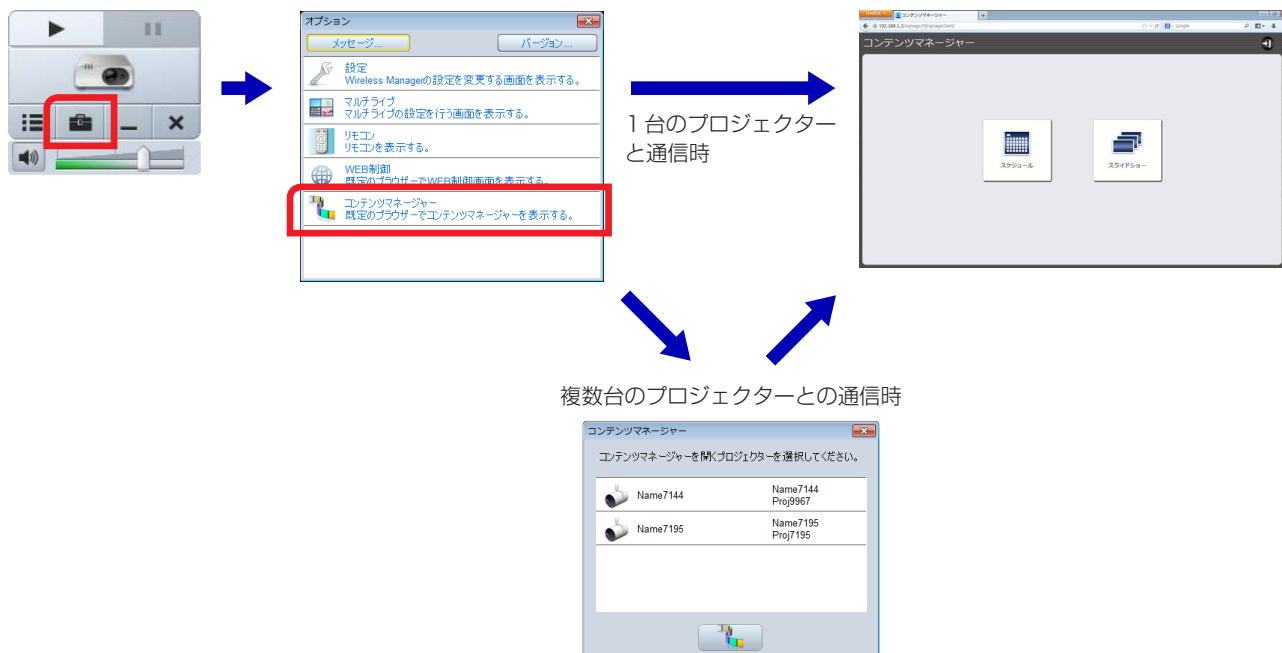
- プロジェクターと通信していないと操作することができません。
プロジェクターとの通信の状態を、「ランチャー」(38 ページ)のアイコンにより知ることができます。
- 通信しているプロジェクターの機種により、WEB ブラウザーに表示される内容が異なることがあります。

コンテンツマネージャー

コンピュータのWEB ブラウザーを使って、コンテンツマネージャーを表示することができます。

📖 プロジェクターの取扱説明書

- 複数台のプロジェクターと通信している場合は、コンテンツマネージャーを表示するプロジェクターを選択して[コンテンツマネージャー]をクリックしてください。



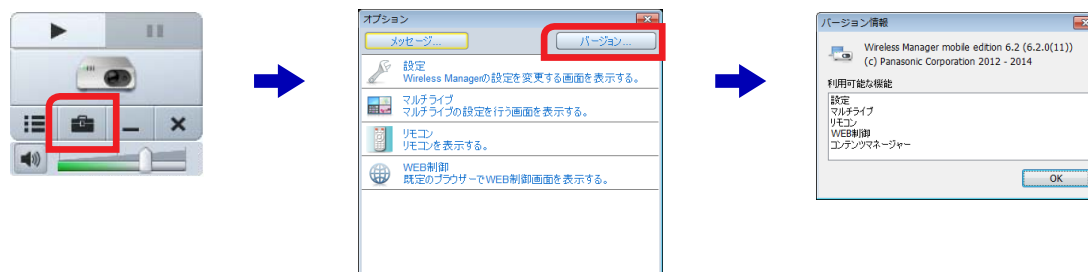
お知らせ

- コンテンツマネージャーを搭載したプロジェクターと通信しているときのみ、オプション画面に[コンテンツマネージャー]は表示されます。
- 通信しているプロジェクターの機種により、対応するWEB ブラウザーのバージョン、およびWEB ブラウザーに表示される内容が異なることがあります。

📖 プロジェクターの取扱説明書

バージョン情報

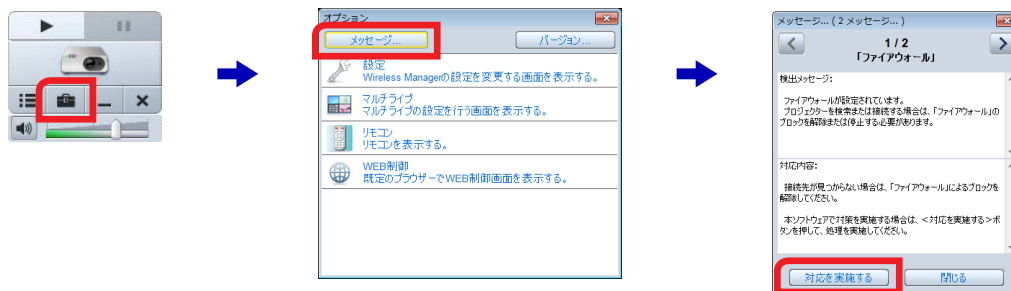
本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。



メッセージ

プロジェクターが見つからないときや使用できないときなどに[メッセージ]をクリックすると、問題を解決するためのヒントが表示されます。

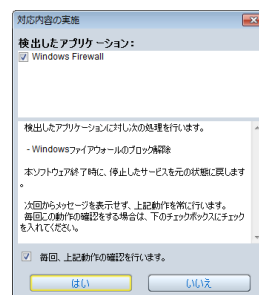
- 表示内容が複数ページになるときは、  をクリックしてページを移動させてください。



- 「対応を実施する」をクリックする。

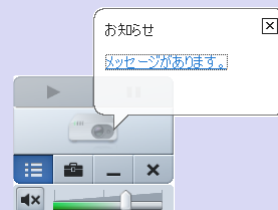
ファイアウォールや無線LANアダプターユーティリティーが動作していることを検出した場合には、<メッセージ>画面に[対応を実施する]ボタンが表示されます。

[対応を実施する]をクリックすると、<対応内容の実施>画面が表示されますので、内容を確認したうえで[はい]をクリックします。



お知らせ


- ランチャーに「メッセージがあります」のバルーンが表示されたときは、バルーンをクリックすると直接<メッセージ>画面を表示することができます。



メッセージ／対応内容	ページ
<p>「ファイアウォール」</p> <p>検出メッセージ：</p> <p>ファイアウォールが設定されています。</p> <p>プロジェクターを検索または接続する場合は、「ファイアウォール」のブロックを解除または停止する必要があります。</p> <p>対応内容：</p> <p>接続先が見つからない場合は、「ファイアウォール」によるブロックを解除してください。</p> <p>本ソフトウェアで対策を実施する場合は、<対応を実施する>ボタンを押して、処理を実施してください。</p> <p>補足：</p> <p>[対応を実施する]をクリックして指示に従ってください。</p> <p>Windows ファイアウォールの設定を確認する場合は、Windows の[スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [システムとセキュリティ] ➡ [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]に、本ソフトウェアが登録されていることを確認してください。</p>	65、66

メッセージ／対応内容	ページ
<p>「無線LANアダプターユーティリティ」</p> <p>検出メッセージ： 無線LANアダプターユーティリティを検出しました。</p> <p>対応内容： プロジェクターを検索または接続するためには、無線LANアダプターユーティリティを停止する必要があります。 本ソフトウェアで対策を実施する場合は、＜対応を実施する＞ボタンを押して、処理を実施してください。</p> <p>補足： [対応を実施する]をクリックして指示に従ってください。 ご利用中の無線LANアダプターのユーティリティが、無線の設定を変更している場合があります。 ユーティリティを終了させてから再度、接続を行ってください。</p>	66
<p>検出メッセージ： ネットワークブリッジが設定されています。</p> <p>対応内容： 接続先が見つからない場合は、「ネットワークブリッジ」によるブロックを解除してください。</p> <p>補足： ネットワークブリッジを使用することがなく、不要な場合は、ネットワークブリッジを削除してください。</p>	63、64
<p>検出メッセージ： 管理者権限のないアカウントでログオンされています。</p> <p>対応内容： ネットワーク接続を行った後、WirelessManagerを起動してください。 ネットワーク接続を行うためには、事前に管理者権限でコンピュータのネットワーク設定(IPアドレスなど)を行う必要があります。</p> <p>補足： 管理者権限がないアカウントやGuestアカウントでログオンした場合は、簡単無線接続(無線LAN接続が[シンプル]、[S-DIRECT]、[S-MAP]、[1]～[4]に設定されているプロジェクター)を使用することはできません。 無線LANで接続する必要がある場合は、無線LAN接続が[USER1]、[USER2]、[USER3]、[M-DIRECT]に設定されているプロジェクターを使用してください。</p>	62
<p>検出メッセージ： プロジェクターが見つからない場合は、以下の確認を行ってください。</p> <p>対応内容： [プロジェクターの設定] ・プロジェクターの電源が入っているか？ ・ネットワークがONになっているか？ ・無線LAN接続の設定が所望の設定になっているか？ [コンピュータの設定] ・無線スイッチがONになっているか？ ・無線が有効になっているか？ ・ファイアウォールアプリケーションが例外登録されているか？</p> <p>補足： ・プロジェクターの電源を入れてください。 ・プロジェクターのネットワークを利用できる状態にしてください。 ・ネットワークの設定をプロジェクターと本ソフトウェアで合わせてください。 ・コンピュータの無線スイッチをONにしてください。 ・無線／有線LANアダプターを有効にしてください。 ・コンピュータにインストールされている「ファイアウォール」によるブロックを解除してください。</p>	—

用語解説


用語	説明
Access point アクセスポイント	無線LANでコンピューターとネットワークを接続する電波中継機のことです。 アクセスポイントに接続することで、アクセスポイントが接続されているネットワークにアクセスできるようになります。
Account ユーザーアカウント	コンピューターを使う人（ユーザー）を識別するための登録名のことです。「管理者」と「標準ユーザー」があります。標準ユーザーでは、一部使えない機能やアプリケーションソフトがあります。
管理者権限のアカウント	他のユーザーに影響する変更を行うことができるアカウントです。  （シールド）が表示されている操作を行うと、操作を行っても問題がないか確認の画面が表示されます。
AD HOC	アクセスポイントを介さずにコンピューターどうしが直接通信を行うモードのことです。
AES	Advanced Encryption Standardの略です。 通信中でも暗号キーを変更し続けることにより、暗号キーが解読されることを防ぐので安全性が高くなります。 AESは、暗号化処理をハードウェアで行うので、アクセスポイントもAESに対応している必要があります。 米国商務省標準技術局 (NIST) によって規格化された、米国政府の次世代標準暗号化方式です。
Default Gateway デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークの規格と異なった他のネットワークに接続する場合などに使われる機器のことです。双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイに設定されているホストにデータが送信されます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略です。 接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能です。 DHCPサーバーの機能を持った機器がLAN内にあれば接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。
Encryption 暗号化	他人にわからない形にデータを変換することです。 送信者と受信者の間でデータを変換するためのルール（アルゴリズム）と鍵（ネットワークキー）を決めておき、送信者が変換（暗号化）したデータを受信者が元に戻します（復号化）。 重要なやり取りを他人に解読されることなく行うことができます。
Firewall ファイアウォール	ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを守るためのセキュリティシステムのことで、 ネットワークとの間でやり取りされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにすることで、不正なアクセスを防ぎます。
Hub ハブ	同じ種類のケーブルを集めて、情報を中継するための装置のことです。 USBハブやネットワークハブなどがあります。
Infrastructure Mode インフラストラクチャーモード	アクセスポイントを経由し、通信するモードのことです。
IP address IPアドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。 IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じIPアドレスを使用することはできません。
LAN	Local Area Networkの略です。 会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。

用語解説(つづき)

用語	説明
Logoff ログオフ	ネットワークやコンピューターのシステムにアクセスできる状態(ログオン)を解消することです。 ログアウトとも呼ばれます。
Logon ログオン	ネットワークやコンピューターのシステムにアクセスできる状態にすることです。 ログインとも呼ばれます。
MAC address MACアドレス	各ネットワークアダプターに割り当てられた固有のID番号のことです。 全世界のネットワークアダプターには、1枚1枚固有の番号が割り当てられており、これを元にアダプター間のデータの送受信が行われます。 IEEEが管理・割り当てをしているメーカーごとに固有な番号と、メーカーが独自に各アダプターに割り当てる番号の組み合わせによって表されます。
MPEG	デジタル動画を効率的に圧縮するための技術のことです。 そのひとつであるMPEG2は、すぐれた画質で、DVD-Videoなどに利用されています。 圧縮率がMPEG2より低いMPEG1もあり、Video CDで利用されています。また、電話回線など通信速度の低い回線を通じた低画質、高圧縮率の映像の配信を目的としたMPEG4という規格もあります。
Open System/OPEN オープンシステム/ オープン	公開鍵暗号を用いた無線認証方式のひとつです。
Protocol プロトコル	コンピューターどうしでデータ通信をするために、必要な共通の約束事のことです。 異なるコンピューターどうしでデータのやり取りができるようにするためには、データ送受信のタイミングや送受信される情報のフォーマットなど、双方に同じ約束事が必要となります。例えばインターネットでは、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) と呼ばれるプロトコルを使って、さまざまなソフトウェアがデータ通信を行っています。
SSID	Service Set IDの略です。 無線LANでは、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するために、SSIDと呼ばれる識別コードを設定する必要があります。 一部メーカーの無線LANアダプターによっては、[ESSID] や [ネットワーク名] などと表示されている場合もあります。
Subnetmask サブネットマスク	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。 その場合のIPアドレスを区切るための値のことをサブネットマスクといいます。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略です。 通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。
Wireless LAN 無線LAN	電波を利用して、無線で通信を行うネットワークのことです。 共通の無線周波数を使ってデータの送受信を行いますので、LANケーブルの配線が不要です。 情報伝達のセキュリティを守るため、SSID や WEP を利用できます。

困ったとき

■ プロジェクターとコンピューターが無線 LAN 接続できないとき

- **本ソフトウェアを起動していますか。**
プロジェクターに無線 LAN で画像を送信するには、コンピューター側で本ソフトウェアを起動する必要があります。
- **ネットワークの設定は正しいですか。**
無線 LAN 接続の設定が [USER1] ~ [USER3]、[M-DIRECT] のプロジェクターを選択する場合、プロジェクターのネットワーク設定とコンピューターのネットワーク設定が正しいか確認してください。
- **本ソフトウェア (ランチャー) の  をクリックして [メッセージ] をクリックしてください。**
対応内容が表示されますので指示に従ってください。

■ コンピューターの管理者権限がないとき

管理者権限がないユーザーや Guest アカウントでログオンした場合は、「[シンプル], [S-DIRECT], [S-MAP], [1], [2], [3], [4] の設定で使用する」(23 ページ)の方法でプロジェクターを選択することができません。
無線 LAN 接続する必要がある場合は、[USER1] ~ [USER3]、[M-DIRECT] の無線 LAN 接続の設定でプロジェクターを選択してください。

■ 「LAN アダプターが見つかりません。」のエラーが表示されたとき

- **無線 LAN アダプターは有効になっていますか。**
無線 LAN アダプターが無効になっている場合は、有効にしてご使用ください。
無線 LAN 内蔵タイプのコンピューターの場合、コンピューターによってはハードウェアスイッチ、またはソフトウェア設定で無線 LAN の電源が「オフ」に設定されている場合があります。「オフ」になっている場合は、「オン」にしてから本ソフトウェアを起動してください。
(Bluetooth を兼用しているコンピューターの場合、Bluetooth が優先になっていることがありますので、無線 LAN を優先に切り換えてください。)
「オン」「オフ」の切り換え方法については、ご使用のコンピューターの取扱説明書を参照してください。
- **無線 LAN アダプターは正しく認識されていますか。**
ご使用の無線 LAN アダプターが正しく認識されていない場合があります。
[デバイスマネージャー] で正しく認識されているか確認してください。
[デバイスマネージャー] の [ネットワークアダプター] の欄に [?] マークが表示されている場合は、インストールが正常に終了していないことが考えられます。
ご使用の無線 LAN アダプターの取扱説明書に従って、再度ドライバーをインストールすることをお勧めします。

<[デバイスマネージャー] の表示方法>

Windows Vista の場合

[スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [システムとメンテナンス] ➡ [システム] を選べると、[コンピューターの基本的な情報の表示] が表示されます。
[デバイスマネージャ] をクリックしてください。

Windows 7 の場合

[スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [システムとセキュリティ] ➡ [システム] を選べると、[コンピューターの基本的な情報の表示] が表示されます。
[デバイスマネージャ] をクリックしてください。

Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 の場合

キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押し、[コントロールパネル] ➡ [システムとセキュリティ] ➡ [システム] を選べると、[コンピューターの基本的な情報の表示] が表示されます。
[デバイスマネージャー] をクリックしてください。

- **無線 LAN アダプターのドライバーのアップデートを行うことで「[シンプル], [S-DIRECT], [S-MAP], [1], [2], [3], [4] の設定で使用する」(23 ページ) が動作するようになる場合があります。**
ドライバーのアップデートに関しては、ご使用の無線 LAN アダプターのメーカーにお問い合わせください。

■「検出メッセージ：ネットワークブリッジが設定されています。」が表示されたとき

● ネットワークブリッジが設定されていませんか。

ネットワークブリッジが設定されていると、無線 LAN 接続ができません。ネットワークブリッジを使用することがなく不要な場合は、ネットワークブリッジを削除してください。

詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

<ネットワークブリッジの有無の確認方法>

Windows Vista/Windows 7 の場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択し、[ネットワークと共有センター] をクリックしてください。

<ネットワークと共有センター> 画面の [アダプターの設定の変更] をクリックしてください。

<ネットワーク接続> 画面に [ネットワークブリッジ] が表示されていることを確認してください。

設定を変更するには、下記のどちらかの操作を行ってください。

<ネットワークブリッジの設定の変更方法>

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択し、[ネットワークと共有センター] をクリックする。
2. <ネットワークと共有センター> 画面の [アダプターの設定の変更] をクリックする。
3. [ネットワークブリッジ] を右クリックし [プロパティ] をクリックする。
4. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスで [続行] をクリックする。
5. <ネットワークブリッジのプロパティ> 画面で [ワイヤレスネットワーク接続] のチェックを外す。
(チェックが入っていない場合は、6 に進んでください。)
6. <ネットワークブリッジのプロパティ> 画面で [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] の [プロパティ] をクリックする。
7. <インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ> 画面の [代替の構成] タブをクリックする。
8. [ユーザー構成] をチェックして [IP アドレス]、[サブネットマスク] を以下のように設定する。
IP アドレス: 10. 10. 11. 101
サブネットマスク: 255. 255. 0. 0
(上記 IP アドレスを LAN 環境で使用中の場合は、10.0.0.0 から 10.255.255.255 の範囲の IP アドレスを設定してください。)
9. [OK] ➡ [閉じる] をクリックする。
10. <ネットワーク接続の管理> 画面を終了する。
11. <ネットワークと共有センター> 画面を終了する。

<ネットワークブリッジの削除方法>

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択し、[ネットワークと共有センター] をクリックする。
2. <ネットワークと共有センター> 画面で [アダプターの設定の変更] をクリックする。
3. [ネットワークブリッジ] を右クリックし [削除] をクリックする。
4. [接続の削除の確認] ダイアログボックスで [はい] をクリックする。
5. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスで [続行] をクリックする。

■「検出メッセージ：ネットワークブリッジが設定されています。」が表示されたとき(つづき)

Windows 8/Windows 8.1/Windows 10の場合

キーボードの[Windows ロゴ]を押しながら[X]を押し、[コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択して[ネットワークと共有センター] をクリックしてください。

＜ネットワークと共有センター＞画面の[アダプターの設定の変更] をクリックしてください。

＜ネットワーク接続＞画面に[ネットワークブリッジ]が表示されていることを確認してください。

設定を変更するには、下記のどちらかの操作を行ってください。

＜ネットワークブリッジの設定の変更方法＞

1. キーボードの[Windows ロゴ]を押しながら[X]を押し、[コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択して[ネットワークと共有センター] をクリックする。
2. ＜ネットワークと共有センター＞画面の[アダプターの設定の変更] をクリックする。
3. [ネットワークブリッジ] を右クリックし[プロパティ] をクリックする。
4. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスで[続行] をクリックする。
5. ＜ネットワークブリッジのプロパティ＞画面で[ワイヤレスネットワーク接続] のチェックを外す。
(チェックが入っていない場合は、6に進んでください。)
6. ＜ネットワークブリッジのプロパティ＞画面で[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] の[プロパティ] をクリックする。
7. ＜インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ＞画面の[代替の構成] タブをクリックする。
8. [ユーザー構成] をチェックして[IPアドレス]、[サブネットマスク] を以下のように設定する。
IP アドレス: 10. 10. 11. 101
サブネットマスク: 255. 255. 0. 0
(上記IPアドレスをLAN環境で使用中の場合は、10.0.0.0から10.255.255.255の範囲のIPアドレスを設定してください。)
9. [OK] ➡ [閉じる] をクリックする。
10. ＜ネットワーク接続の管理＞画面を終了する。
11. ＜ネットワークと共有センター＞画面を終了する。

＜ネットワークブリッジの削除方法＞

1. キーボードの[Windows ロゴ]を押しながら[X]を押し、[コントロールパネル] ➡ [ネットワークとインターネット] を選択して[ネットワークと共有センター] をクリックする。
2. ＜ネットワークと共有センター＞画面で[アダプターの設定の変更] をクリックする。
3. [ネットワークブリッジ] を右クリックし[削除] をクリックする。
4. [接続の削除の確認] ダイアログボックスで[はい] をクリックする。
5. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスで[続行] をクリックする。

■ 本ソフトウェアの起動時に＜対応内容の実施＞が表示されたとき

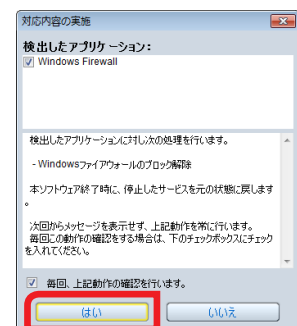
●「検出したアプリケーション」にファイアウォール名が表示されていますか。


ファイアウォールが動作していることを検出した場合、「検出したアプリケーション」に検出したファイアウォール名を表示します。

ブロックを解除する場合は、[はい] をクリックしてブロックを解除、または停止してください。

本ソフトウェアの終了時に、停止したアプリケーションは自動的に元の状態に戻ります。

「毎回、上記動作の確認を行います」にチェックを入れていない場合は、次回の起動時から自動的に対応内容を実施します。



確認メッセージを再度表示したい場合は、ランチャーの  [オプション] ➡ [設定] で、「起動時にファイアウォール確認メッセージを表示する」にチェックを入れてください。

困ったとき(つづき)

■ Windows Firewallを検出したとき

＜対応内容の実施＞画面の[はい]をクリックしてください。

自動的に対応内容を実施します。

手動で設定する場合は、OSの種類に合わせて下記の操作を行ってください。

Windows Vistaの場合

[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]の[例外]タブに本ソフトウェアが登録されていますか。

ファイアウォールの例外アプリケーションリストに本ソフトウェアを登録してください。

＜登録方法＞

1. [スタート] ➡ [コントロールパネル]をクリックする。
2. <コントロールパネル>画面が表示されたら[セキュリティ]をクリックする。
3. [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする。
4. [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスで[続行]をクリックする。
5. <Windows ファイアウォール>画面が表示されたら、[例外]タブ ➡ [プログラムの追加]を順にクリックする。
6. <プログラムの追加>画面が表示されたら、[Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1}をダブルクリックする。
[Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1}が[プログラム]にない場合は、[参照]をクリックして[WM.exe]を選択します。
7. [プログラムまたはポート]の欄に [Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1}が表示される。
8. [Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1}をダブルクリックし、<プログラムの編集>画面を開く。
9. 画面左下の[スコープの変更]をクリックする。
10. <スコープの変更>画面が表示されたら接続を許可したいネットワーク[任意のコンピューター（インターネット上のコンピューターを含む）]から選択する。
11. [OK]をクリックする。
12. <プログラムの編集>画面の[OK]をクリックする。
13. <Windows ファイアウォール>画面の[OK]をクリックする。
本ソフトウェアがWindows ファイアウォールの例外アプリケーションリストに登録されます。

Windows 7の場合

[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]に本ソフトウェアが登録されていますか。

＜登録方法＞

1. [スタート] ➡ [コントロールパネル]をクリックする。
2. <コントロールパネル>画面が表示されたら[システムとセキュリティ]をクリックする。
3. <システムとセキュリティ>画面の[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックする。
4. [設定の変更]をクリックし、登録許可モードに変更する。
5. [別のプログラムの許可]をクリックし、[Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1}を選択して、[追加]をクリックする。
6. [許可されたプログラムおよび機能]リストに本ソフトウェアが追加されていることを確認する。
ホーム/社内およびパブリックにチェックが入っていることを確認する。
7. <Windows ファイアウォールによるプログラムの許可>画面の[OK]をクリックする。
本ソフトウェアがWindows ファイアウォールの例外アプリケーションリストに登録されます。

🔧お知らせ🔧

- *1 *アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。

困ったとき (つづき)

■ Windows Firewallを検出したとき (つづき)

Windows 8/Windows 8.1/Windows 10の場合

[Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] に本ソフトウェアが登録されていますか。

<登録方法>

1. キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押し、[コントロールパネル] をクリックする。
2. <コントロールパネル> 画面が表示されたら [システムとセキュリティ] をクリックする。
3. <システムとセキュリティ> 画面の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックする。
4. [設定の変更] をクリックし、登録許可モードに変更する。
5. [別のアプリの許可] をクリックし、[Wireless Manager mobile edition 6.*]^{*1} を選択して、[追加] をクリックする。
6. [許可されたアプリおよび機能] リストに本ソフトウェアが追加されていることを確認する。
プライベートおよびパブリックにチェックが入っていることを確認する。
7. <許可されたアプリ> 画面の [OK] をクリックする。

本ソフトウェアがWindows ファイアウォールの例外アプリケーションリストに登録されます。

お知らせ

- *1 *アスタリスクは、ソフトウェアのバージョンの一部が表示されます。

■ その他のファイアウォールを検出したとき

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていませんか。

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていると、プロジェクターと通信できない場合があります。

(起動していなくても、インストールされているだけでファイアウォール機能が動作する場合があります。)

この場合、無線LAN接続を行うためには、ファイアウォールの設定変更を行う必要があります。

ファイアウォールの設定方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

■ 「検出メッセージ：無線LANアダプターユーティリティを検出しました。」が表示されたとき

無線LANアダプターのユーティリティが動作している場合、ユーティリティ名を表示します。

プロジェクターと通信するためには、無線LANアダプターユーティリティを停止する必要があります。

[対応を実施する] ボタンが表示されている場合は、本ソフトウェアでユーティリティを停止させることができます。

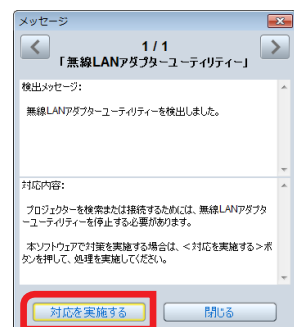
対応を実施する場合

[対応を実施する] ボタンをクリックすると<対応内容の実施>画面が表示され、検出したユーティリティ名が表示されます。

ユーティリティを停止する場合、[はい] をクリックして無線LANアダプターユーティリティを停止してください。

本ソフトウェアの終了時に、停止した無線LANアダプターユーティリティは自動的に元の状態に戻ります。

「毎回、上記動作の確認を行います」にチェックを入れている場合は、次のネットワーク切替時から自動的に対応内容を実施します。



確認メッセージを再度表示したい場合は、ランチャーの [オプション] ➡ [設定] で、「接続時に無線LANアダプターユーティリティ確認メッセージを表示する」にチェックを入れてください。

■ 無線LAN、または有線LANの接続が切れてしまう

投写が中断された場合や通信が切断された場合は、プロジェクターのリストから再度プロジェクターを選択してください。それでもプロジェクターと通信できない場合は、プロジェクターの電源を切り、クーリングが終了した（本体の電源モニターが橙色から赤色に変わった）後に本体の主電源スイッチがある場合は、スイッチを切ります。

スイッチがない場合は、電源ケーブルを抜きます。

再度電源を入れてから、もう一度本ソフトウェアからプロジェクターを選択してください。

(👁 22 ページ)

困ったとき(つづき)

■ マルチライブモード中に通信が切断される

Intel Centrino モバイルテクノロジー (無線 LAN) 搭載のコンピュータでプロジェクターと通信する場合は、アダプターのバージョンによっては、マルチライブモードが解除される場合があります。


■ インターネットをしながら無線 LAN 接続を行いたい

- インターネット接続が可能な無線 LAN 環境がある場合は、この無線 LAN 環境にプロジェクターを組み込むことによりインターネット接続、プロジェクターとの無線 LAN 通信の併用が可能となります。(🔗 25 ページ)
- 有線 LAN でのインターネット接続環境がある場合は、有線 LAN でのインターネット接続、無線 LAN 接続の併用が可能です。

■ IEEE802.11g で接続できない / IEEE802.11n で接続できない

- IEEE802.11b、IEEE802.11g 対応の無線 LAN アダプターが混在するような環境では IEEE802.11b で接続される場合があります。
- 使用環境 (場所、電波状況、距離など) によっては、IEEE802.11b で接続される場合があります。
- 無線 LAN のアダプターによっては、“AD HOC” 接続では IEEE802.11b での接続しかサポートしていないものがあります。
- IEEE802.11n で使用できるのは、[シンプル]、[S-DIRECT]、[M-DIRECT]、ワイヤレスモジュール (品番：ET-WM200) およびインフラストラクチャー接続 (802.11n 対応アクセスポイント使用時) を使用した場合に限ります。
[シンプル]、[S-DIRECT]、[M-DIRECT]、ワイヤレスモジュールは一部のプロジェクターのみ使用可能です。
対応機能については、使用している機種が NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合は弊社 WEB サイト (<http://www2.panasonic.biz/ls/lighting/>) または CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応機能一覧表」をご覧ください。これ以外の機種で、プロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は、CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。
また弊社 WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) の「対応プロジェクター機種一覧表」でもご確認いただけます。

■ 画像の表示やアニメーションの再生が遅い、スムーズでない

- コンピューターの CPU 速度が遅くありませんか。
(🔗 9 ページ)
画像の表示やアニメーションの再生は、コンピューターの CPU 性能に大きく依存します。
- 周囲で無線通信が行われている場合は、影響を受ける場合があります。
- ランチャーの  [オプション] ➡ [設定] で、「高画質で投写する (パフォーマンスに影響します)」を選択している場合には、画面表示が遅くなることがあります。
(🔗 48 ページ)
- 他のアプリケーションを同時に起動している場合、遅くなることがあります。
- 本ソフトウェアを起動する前に、Microsoft PowerPoint または Windows Media Player を起動していませんか。
上記アプリケーションは、本ソフトウェアを起動したあとに起動してください。
- 管理者権限がないアカウントで起動した場合は、速度が著しく低下することがあります。
- 動画を再生する場合、表示が遅くなることがあります。

■ DVD や MPEG2、Blu-ray Disc のコンテンツがコンピューター上で再生できない

- 本ソフトウェアを起動しているときは、以下の制限があります。
 - ・ DVD、MPEG2、Blu-ray Disc の動画の再生はできません。
 - ・ 3D 系のアプリケーションを使用した場合、アプリケーションの性能が低下したり、描画されなかったり等、正常に動作しない場合があります。
- 本ソフトウェアを終了し、コンピューターケーブルや HDMI ケーブルを接続してご利用ください。
(動画を再生するプレイヤーによっては、動画が再生できない場合もあります。)

困ったとき(つづき)

■ コンピューター操作と実際の投写映像にタイムラグがある

- 本ソフトウェアはコンピューターの画面を取り込んで圧縮してからプロジェクターに送信します。また、プロジェクター側では受信したデータを解凍してから投写します。
この処理時間と無線LANの環境によって遅延時間が発生します。ご使用のコンピューターの性能によっても遅延時間に差がでます。

■ ライブスタイルを変更できない

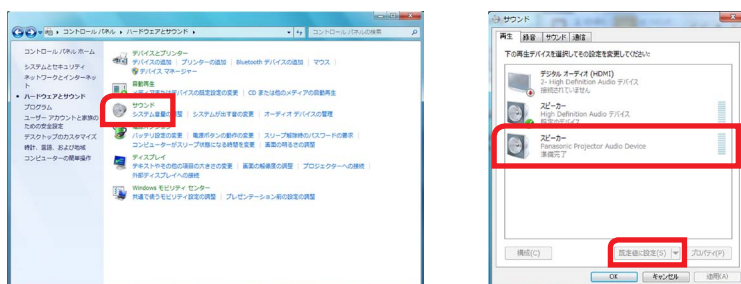
- ランチャーの [オプション] ➡ [マルチライブ] ➡ 「ライブスタイルの選択」でライブスタイルを選び、[適用]をクリックするとスタイルが切り換わります。
(☞ 51 ページ)
- リモコンの[マルチライブ]をクリックするとスタイルが切り換わります。
(☞ 55 ページ)
- プロジェクターの「ネットワーク」メニューから「マルチライブ」を選択し、<決定/ENTER> ボタンを押すことで切り換えることができます。
- 全画面で表示をしているときは、スタイルを切り換えることができません。一旦、投写を停止してからライブスタイルを変更してください。

■ 投写時にプロジェクターからコンピューターの音声がでない

- 本ソフトウェアを起動する前に、メディアプレイヤー（Windows Media Player、Real Player、Quick Time など）を起動していませんか。
上記アプリケーションは、本ソフトウェアで投写を開始した後に起動してください。
- 複数台のプロジェクターと同時に通信している場合は、利用できません。
- ランチャーの [オプション] ➡ [設定] ➡ 「投写時に映像と一緒に音声も出力する」にチェックが入っているかを確認してください。
(☞ 48 ページ)

Windows 7 の場合

1. 本ソフトウェアで投写を開始した状態で、[スタート] ➡ [コントロールパネル] ➡ [ハードウェアとサウンド]を選択し、[サウンド]をクリックする。
2. “Panasonic Projector Audio Device” が“既定のデバイス”になっているかを確認する。
3. “既定のデバイス”に設定されていない場合は、“Panasonic Projector Audio Device”を選択し、[既定値に設定]をクリックする。
4. サウンド画面の [OK] をクリックする。
 - 本ソフトウェアの終了後、既定のデバイスは元の状態に戻ります。



- 上記の操作を行っても症状が改善されない場合は、本ソフトウェアをいったん終了し、起動し直してください。

■ 本ソフトウェアの色表示が正しくなく、文字が読みづらい


- ランチャーの [オプション] ➡ [設定] ➡ 「高画質で投写する（パフォーマンスに影響します）」にチェックが入っているかを確認してください。(☞ 48 ページ)
- 画面の色を 16ビット以上にしてください。

Windows Vista/Windows 7 の場合

1. [コントロールパネル]の[デスクトップのカスタマイズ] ➡ [画面の解像度の調整] ➡ [詳細設定]をクリックする。
2. [モニター]タブをクリックし、[色]を[16ビット]以上に設定する。

困ったとき (つづき)

■ 投写時、スクリーンセーバーが正常に表示されない

- スクリーンセーバーの種類によって、正常に表示できない場合があります。
- ランチャーの  [オプション] ➡ [設定] ➡ 「投写時にスクリーンセーバーを無効にする」にチェックを入れて、スクリーンセーバーを表示しないように設定してください。(🔗 48 ページ)

■ Windows Vista または Windows 7 で Windows Media Player 11 を使用すると、投写中に音声が途切れる

- Windows Media Player 11 を使用する場合、できるだけ他のアプリケーションを終了させてください。それでも音声が途切れる場合は、他のプレイヤーを使用してください。

■ 「Windows Aero」が無効になる

本ソフトウェア起動中は、「Windows Aero」を無効にします。

■ 検索したプロジェクターに投写する時に、プロジェクターの電源が入らない場合

- プロジェクターが PT-VW345N/PT-VX415N、NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B で、投写時にプロジェクターの電源が入らない場合があります。
その場合は、以下の操作をしてください。
- PT-VW345N、PT-VX415N の場合
プロジェクターの電源を入れて、[メニュー] ➡ [プロジェクター設定] ➡ [ECO マネージメント] - [スタンバイモード] の設定を、[ネットワーク] から [ノーマル] に切り換えてください。
- NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合
プロジェクターの電源を入れて、メニューの [セットアップ] ➡ [ECO マネージメント] ➡ [スタンバイモード] の設定を [ECO] または [ネットワーク] から [ノーマル] に切り換えてください。

■ 無線 LAN の無線 LAN 接続の設定、プロジェクター名、ネットワーク ID が表示されない

■ プロジェクターが検索できない

- プロジェクターが PT-VZ575N/PT-VW535N/PT-VX605N、PT-VW345N/PT-VX415N、または、PT-VW355N/PT-VX425N の場合、プロジェクターの設定によっては、無線 LAN の無線 LAN 接続の設定、プロジェクター名、ネットワーク ID が表示されない、もしくは見つからない場合があります。その場合は、以下の操作をしてください。
[メニュー] ➡ [ネットワーク] ➡ [コネクションロック] が [オフ] の場合：リモコンの <Panasonic APP> ボタン (またはプロジェクター本体操作部の入力切替ボタン) を押して、入力を [Panasonic APPLICATION] に切り換えてください。
[メニュー] ➡ [ネットワーク] ➡ [コネクションロック] が [メモリービューワー] / [Miracast(TM)] / [ミラーリング] の場合：[コネクションロック] を [Panasonic APPLICATION] に切り換えてください。

困ったとき (つづき)

■ Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 の環境でプロジェクターが検索できない

- 使用するコンピューターによって、プロジェクターが検索できない場合があります。
プロジェクターが検索できないときは、プロジェクターを以下の設定にしてください。

プロジェクターが PT-VZ575N/PT-VW535N/PT-VX605N、PT-VW345N/PT-VX415N、PT-VW435N/
PT-VX505N、または PT-VW355N/VX425N の場合

[シンプル]、[S-DIRECT]、または [M-DIRECT] の設定で使用してください。

( 23 ページ、28 ページ)

プロジェクターが他のプロジェクター (無線 LAN 対応) の場合

アクセスポイントを利用した [USER1] ~ [USER3] (infrastructure mode) で使用してください。

( 25 ページ)

お知らせ

- これらの情報と併せて、使用している機種が NTN91000W/NTN91000B、NTN91001W/NTN91001B、
NTN91002W/NTN91002B、または、NTN91003W/NTN91003B の場合は、弊社 WEB サイト (<http://www2.panasonic.biz/ls/lighting/>)、それ以外の機種の場合は、弊社 WEB サイト (<http://panasonic.biz/projector/>) の FAQ (Frequently Asked Questions) もご覧ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Centrino、Intel Core2 Duo および Intel Core i5 は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では® や TM マークは明記していません。

ご注意

- 本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

電話

フリー
ダイヤル



0120-878-709

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

365日
受付9時～18時

URL <http://www2.panasonic.biz/ls/lighting/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがございます。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地